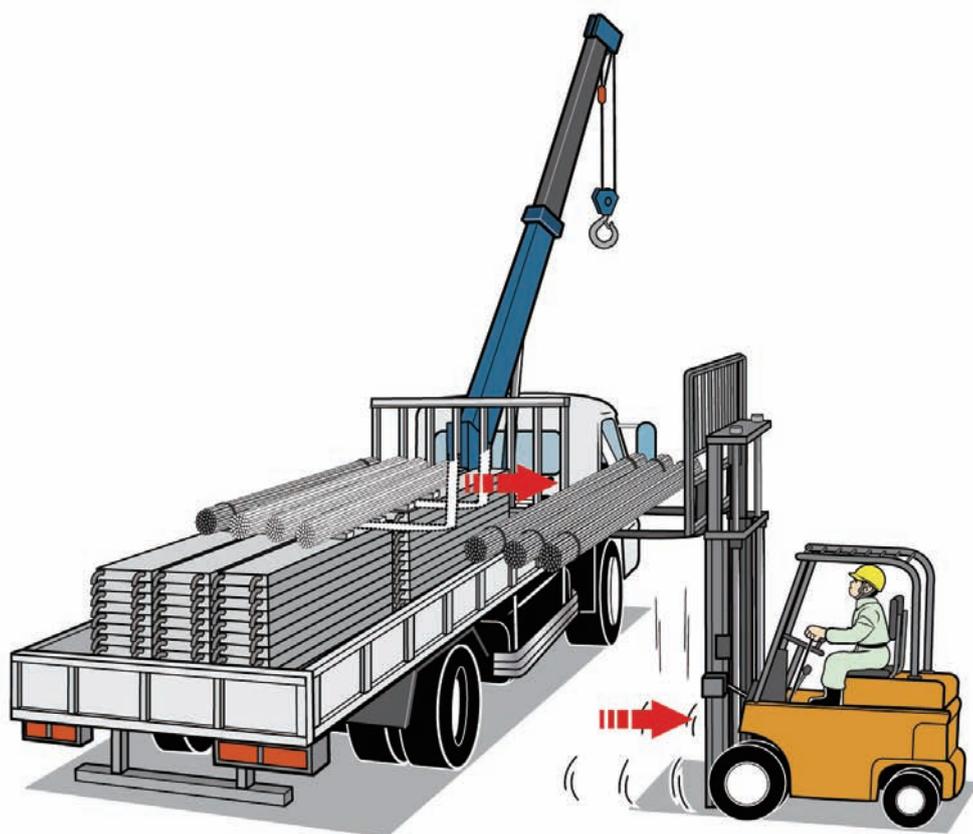


# イラストによる機材センターの災害事例集



## ま え が き

わが国の労働災害は、長期的には着実に減少してきています。これは関係者の労働災害防止に寄せる熱意と地道な安全衛生活動の成果であり、その熱意の陰には、このような出来事は絶対にあってはならないと切実に感じさせる多くの悲惨な労働災害の発生があったと考えられます。

労働安全衛生規則には、労働災害を防止するために講ずるべき措置が定められていますが、その規定が設けられた経緯をみると、やはり多くの悲惨な労働災害が発生し、法的拘束力をもって再発を防止しなければならないと判断された結果であることが分かります。因みに、労働安全衛生規則の条文は、血と涙の結晶であるといわれています。

このように我が国の安全衛生水準が向上してきた大きな要因の一つとして、過去に発生した多くの労働災害を教訓に、関係者が力を合わせて同種の労働災害の防止に努力してきたことが挙げられます。

したがって、機材センターにおける労働災害の防止を図るためには、機材センターにおいて過去に発生した労働災害事例を收拾し、それを糧に、同種の災害の防止対策を策定してその徹底を図ること、及び安全衛生意識の高揚を図ることが重要と考えられます。

一般社団法人仮設工業会には、従前から機材センターで実施される経年仮設機材の管理業務の改善・その他に関する調査研究を実施するための適用工場委員会が設けられています。この災害事例集は、機材センターにおいて実際に発生した労働災害の中から特に重要と考えられる災害事例を対象に、適用工場委員会において、同種の労働災害の防止を図るための資料として取りまとめたものです。

この災害事例集が、機材センターにおいて、教育研修用教材、危険予知訓練(KYT)用イラストシート、ツールボックスミーティングにおける指示用資料等として活用されることにより、同種の労働災害が根絶されることを期待しております。

平成28年11月1日

一般社団法人 仮設工業会  
会長 伊藤正人

## 適用工場委員会 委員名簿

平成 28 年 10 月 3 日現在

	氏 名	所 属 ・ 職 名
委員長	横 田 雅 紀	株式会社 ミルックス 本社機材センター 技術部 部長
委 員	芳 賀 誠	株式会社 大林組 東京機材センター 所長
委 員	廣 野 直 記	戸田建設株式会社 機材部 機材課長
委 員	岡 田 和 哉 (多賀正訓)	大興物産株式会社 営業本部 機材統括部長 (大興物産株式会社 営業本部 機材統括部長)
委 員	鈴 木 一 矢	朝日機材株式会社 本店 センター管理部 課長
委 員	久 保 寺 俊 弘	日建リース工業株式会社 工場本部 課長代理
委 員	片 野 光 博	日建片桐リース株式会社 工場本部 統括工場長
委 員	細 川 政 義	エスアールジータカミヤ株式会社 機材運用部 関東ブロック ブロック長
委 員	猶 江 康 順	株式会社 杉孝 四日市機材センター所長 機材管理本部 次長
委 員	柴 田 紳 也	三信産業株式会社 執行役員 経営企画室 室長
委 員	日 向 雅 憲	アルインコ株式会社 仮設リース事業部 岸和田機材センター センター長
委 員	高 須 賀 清 司	岡部株式会社 本社営業部仮設・リースグループ 野田機材センター長
委 員	平 山 稔	中央ビルト工業株式会社 千葉機材センター 所長
委 員	中 村 太 志	株式会社 シンニッタン 相模原機材整備工場 工場長
委 員	永 松 英 士	株式会社 ダイサン 首都圏東エリア エリア長
委 員	高 橋 誠	日綜産業株式会社 岩間機材センター センター長
委 員	梶 原 幸 治	キョーワ株式会社 開発技術部 本部長
委 員	早 瀬 信 一	ホリー株式会社 商品開発部 課長
委 員	渡 邊 祐 美	日工セック株式会社 幸手工場 工場長
オブザーバー	原 田 保	一般社団法人 軽仮設リース業協会 常務理事
オブザーバー	庄 野 豊	一般社団法人 軽仮設リース業協会 技術安全部会長

1 順不同・敬称略

2 ( ) 内は前任者

## イラストによる機材センターの災害事例集 目次

1 目的	5
2 機材センターの災害の現状	5
3 機材センターに関係すると考えられる災害事例の「作業の状況」と「安全対策の例」	5
4 イラストによる機材センターの災害事例集の活用方法	5
5 災害事例	
(1) 死亡災害(7件)	7
(2) 負傷災害(29件)	21
(参考資料)	
1 平成23年における機材センターに関係すると考えられる負傷災害事例	79
2 平成24年における機材センターに関係すると考えられる負傷災害事例	87
3 平成25年における機材センターに関係すると考えられる負傷災害事例	91



## 1 目的

この「イラストによる機材センターの災害事例集」は、平成 26 年度の適用工場委員会においてまとめられた「機材センターにおける労働災害防止について」の事例の中から、主なものをイラストでまとめたものであり、これらを K Y T [危険 (K)、予知 (Y)、訓練 (T)] などに活用することにより、自社の機材センターの作業員が、選別、整備、修理等の作業や入出庫作業等を安全、かつ、衛生的に行うことを目的とするものです。

## 2 機材センターの災害の現状

機材センター等における災害統計について、これまで作成されたものではありませんでしたが、厚生労働省のデータベースには、全ての死亡災害が、また、休業 4 日以上を負傷災害については、災害発生年毎に全事例のうちおよそ 1/4 を無作為に抽出したものが掲載されています。

これらの災害を本会で年別、作業別等によりまとめたものが、次表のとおりとなっています。

これらの災害統計のうち、休業 4 日以上の子害の作業別内訳については、正確さにかなり欠けませんが、全体としての傾向を把握するためにまとめたものです。合計欄の ( ) の件数については、厚生労働省のデータが前述のように災害発生年毎に全事例のうちおよそ 1/4 を無作為に抽出したものが掲載されていることから、これを単純に 4 倍し、1 年間の件数を推定したものです。

これらの結果により、休業 4 日以上の子材センターの子害(現場の資材置場を含む。)については毎年 250 件から 450 件程度の子害が発生しているものと考えられます。

発生年	死亡災害	休業 4 日以上の子傷災害				
		整備・修理等作業	入出庫作業	雨・風、雪等	その他作業	合計
平成 22 年	1	3	25	6	25	59 (236)
平成 23 年	2	38	31	14	28	111 (444)
平成 24 年	1	----	10	3	50	63 (252)
平成 25 年	4	15	23	2	39	79 (316)

## 3 機材センターに関係すると考えられる災害事例の「作業の状況」と「安全対策の例」

今回の災害事例の内容は、厚生労働省のデータベースに掲載されているものの中から機材センターに関係すると思われるもので、平成 22 ~ 24 年に起きた死亡災害及び平成 22 年に発生した休業 4 日以上の子傷災害の主な事例について、本会の適用工場委員会においてその作業の状況と安全対策の例をイラストでまとめたものです。

## 4 イラストによる機材センターの災害事例集の活用方法

このイラスト集の活用方法の一つとして、このイラスト集に取り上げられた作業において、どんな危険があり、どんな災害が起これるかを考えてみます。次にこの危険を回避するためにどんな安全対策を講ずるべきかを考えてみます。そして、最後に実際に起こった災害のイラストを見て、安全対策の例を確認することができます。さらに、実際に起こった災害以外にも

イラストから想定される危険性についても、その安全対策を検討することにより、機材センター等での災害防止に活用することができます。

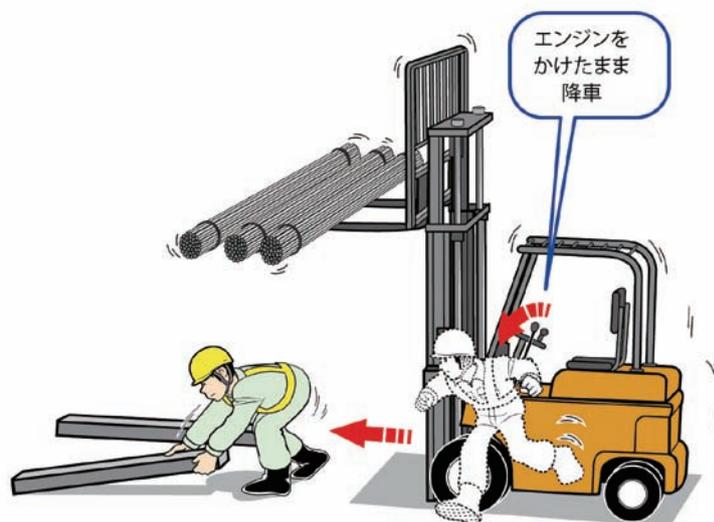
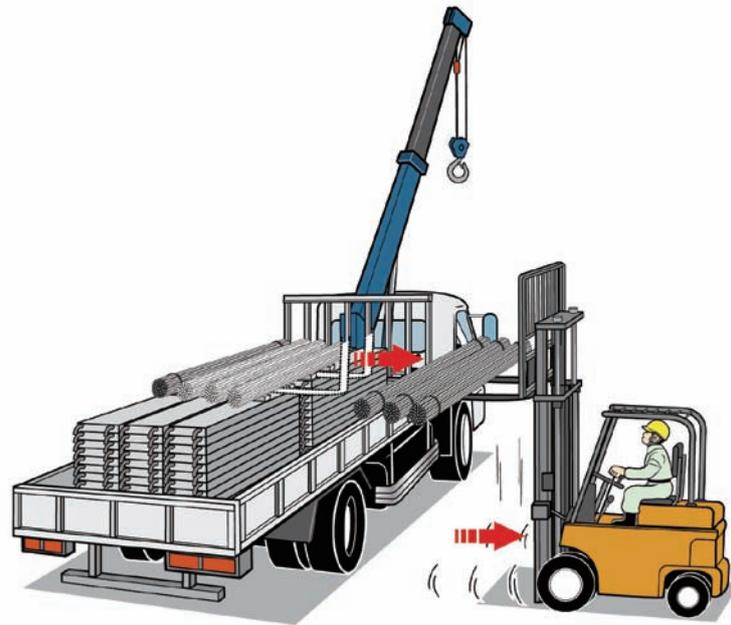
なお、安全対策を検討するにあたり、大きく分けて以下の安全対策が考えられ、リスクアセスメント等を参考に次の優先順位で検討することができます。

- (1) 危険な作業の廃止・変更、より安全な作業方法への変更等
- (2) 機材センター内の舗装、通路と置場等の区分の明確化
- (3) 適切な保管管理など整理整頓等
- (4) トラックの昇降に使用する専用はしごの使用等の設備面での対応
- (5) マニュアルの整備、作業方法の確立
- (6) 表示等による注意喚起
- (7) 安全衛生教育
- (8) 危険予知活動
- (9) 保護具の着用と正しい使用

## 死亡災害 NO.1-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？

どんな安全対策が考えられますか？

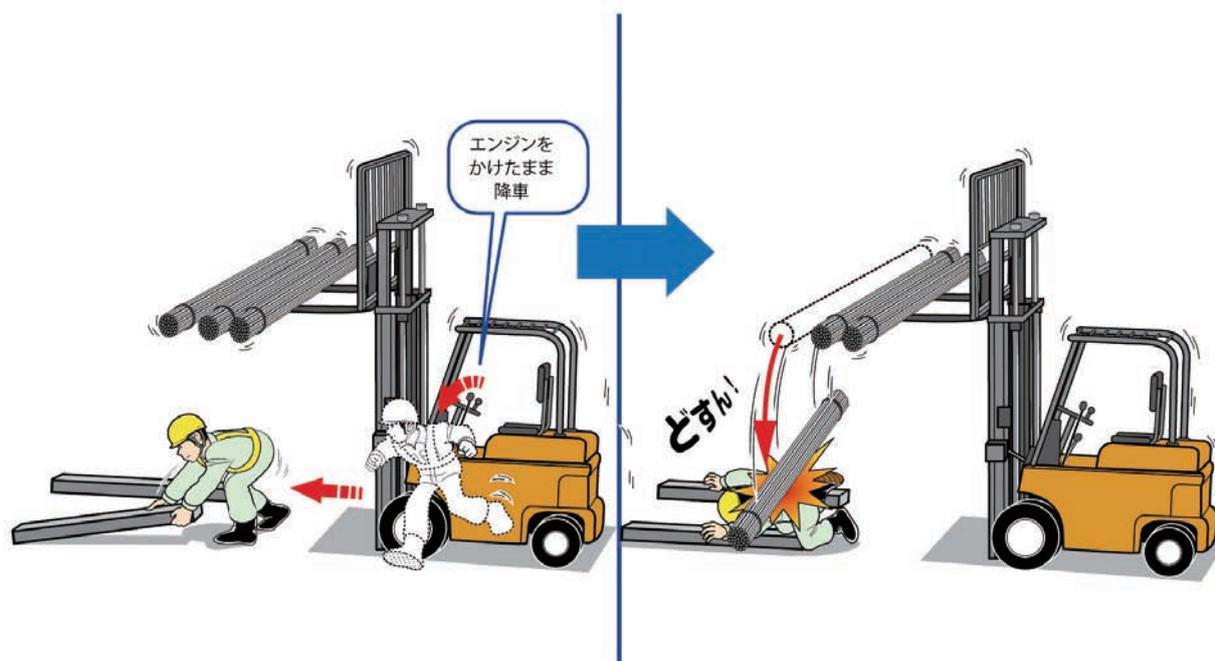


### (作業の状況)

作業者はフォークリフト（最大荷重 2.95 t）を運転し、積載形トラッククレーンの荷台にあった足場用単管パイプ 4 束のうち 3 束（総重量 1,196kg）をフォークに載せたが、うち 1 束（長さ 3.5 m× 50 本。重量 364kg）がフォークの先端からはみ出しています。

## 死亡災害 NO.1-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

被災者はフォークリフト（最大荷重 2.95 t）を運転し、積載形トラッククレーンの荷台にあった足場用単管パイプ 4 束のうち 3 束（総重量 1,196kg）をフォークに載せたが、うち 1 束（長さ 3.5 m× 50 本。重量 364kg）がフォークの先端からはみ出していたため、フォークに単管の束を載せたままエンジンを止めずにフォークリフトを降り、単管の束の下に敷く枕木の 1 本をフォークの下に差し入れたところ、はみ出していた 1 束が被災者に落下し、死亡した。

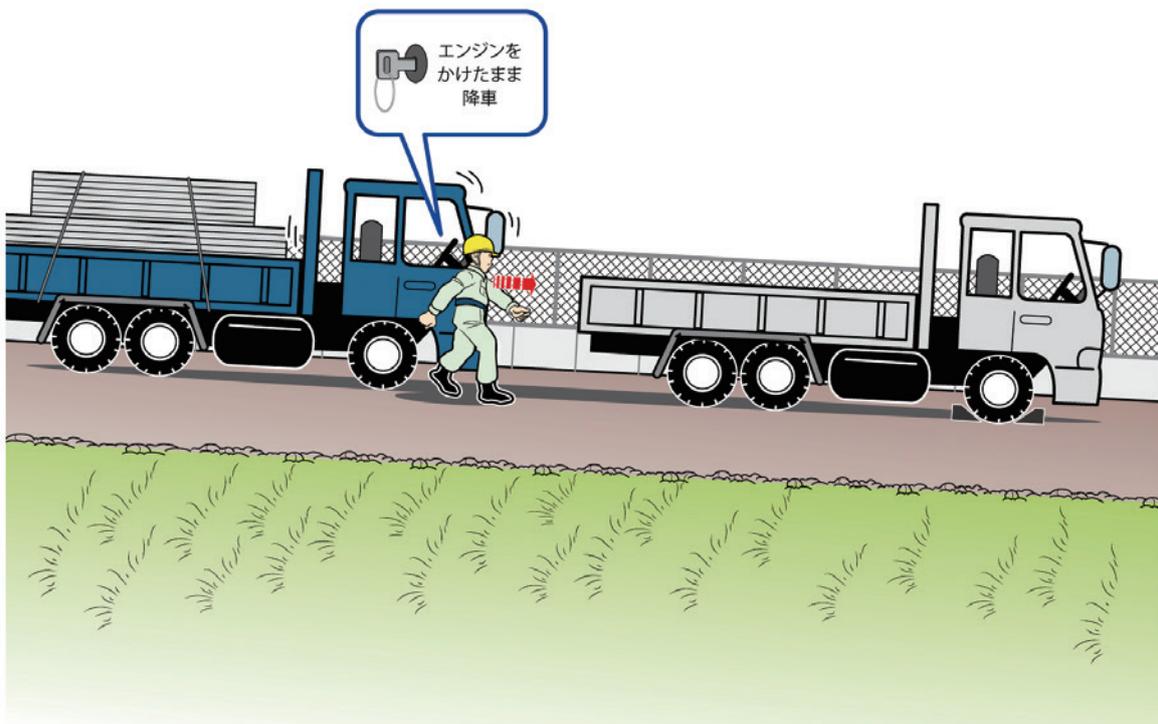
### (安全対策の例)

- 1 機材の下に入ることが無いような作業方法とすること。
- 2 フォークリフトから降りる際は、フォークリフトのフォークを下に降ろしてから行うこと。
- 3 フォークリフトのエンジンを止めること。
- 4 フォークリフトの運転者は、有資格者とすること。

## 死亡災害 NO.2-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？

どんな安全対策が考えられますか？



### (作業の状況)

建設工事現場で使用する足場材料を作業者が自社のトラックで、一次下請会社の資材センターに行き、足場材の積み込み完了後、検収のために待機をしているときに、エンジンを掛けたままトラックを離れ、自車の前方に向かっていきます。

## 死亡災害 NO.2-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

建設工事現場で使用する足場材料を被災者が自社のトラックで、一次下請会社の資材センターに行き、足場材の積み込み完了後、検収のために待機をしているときに、エンジンを掛けたままトラックを離れ、自車の前方に向かったときに、自車が動き出し、前方に停車していたトラックの後部と自車の前部に頭部を挟まれ死亡した。

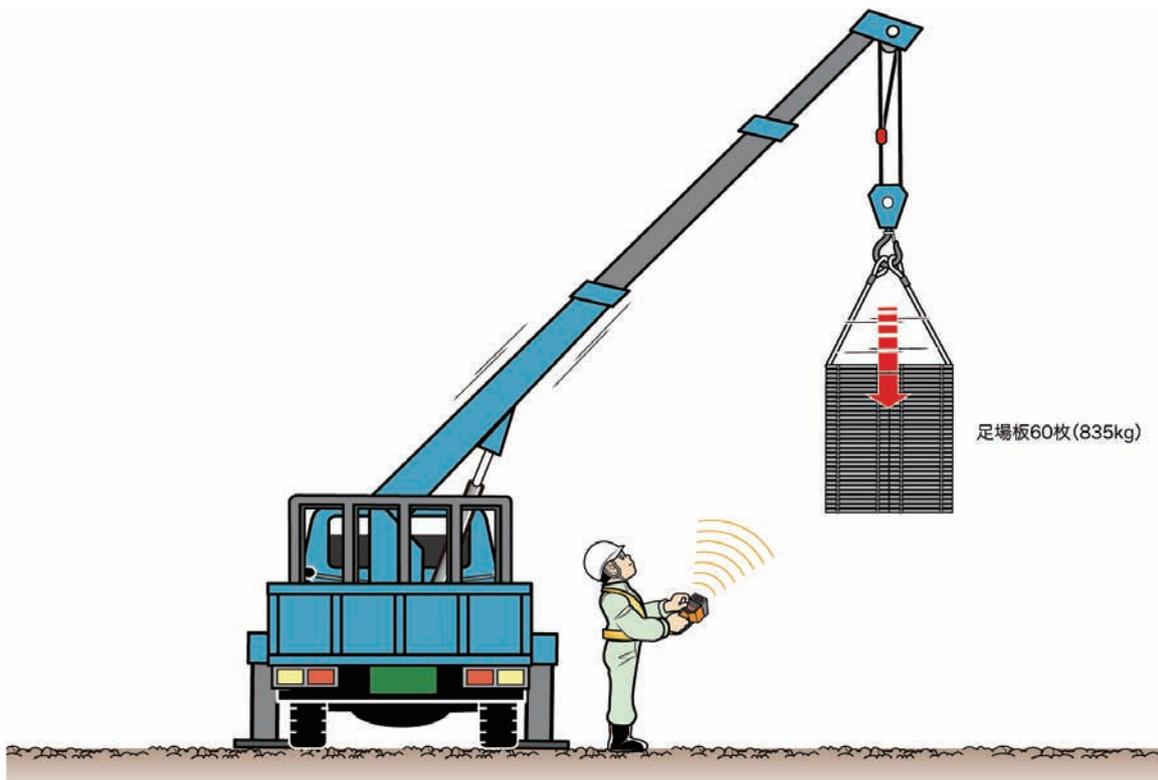
### (安全対策の例)

- 1 トラックのエンジンを止め、サイドブレーキを掛けること。
- 2 傾斜地等、できるだけトラックの車輪止めを行うこと。
- 3 停車中の貨物自動車の逸走防止措置を確実にすること。万一、貨物自動車動き出したときは、止めようとしたり、運転席に乗り込もうとしないこと。

## 死亡災害 NO.3-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？

どんな安全対策が考えられますか？

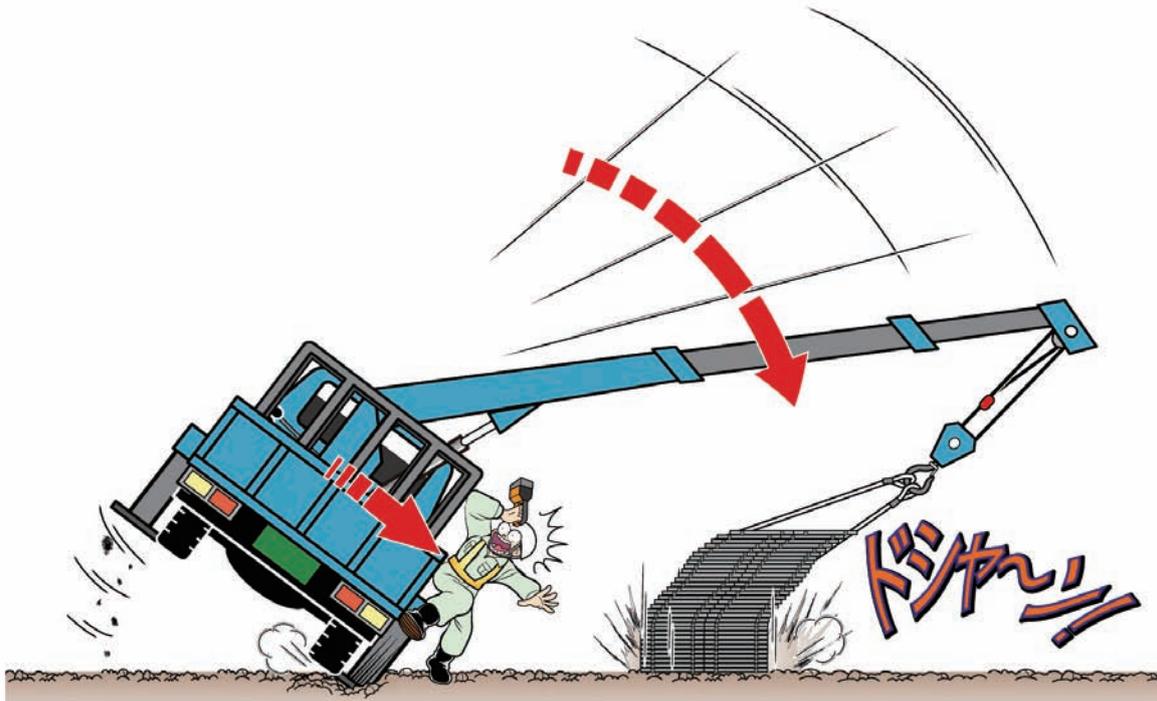


### (作業の状況)

足場材の資材置場にて、積載形トラッククレーン(つり上げ荷重2.93 t)を使用し、結束された足場材60枚(835kg)をトラックの荷台から卸そうとしています。

## 死亡災害 NO.3-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

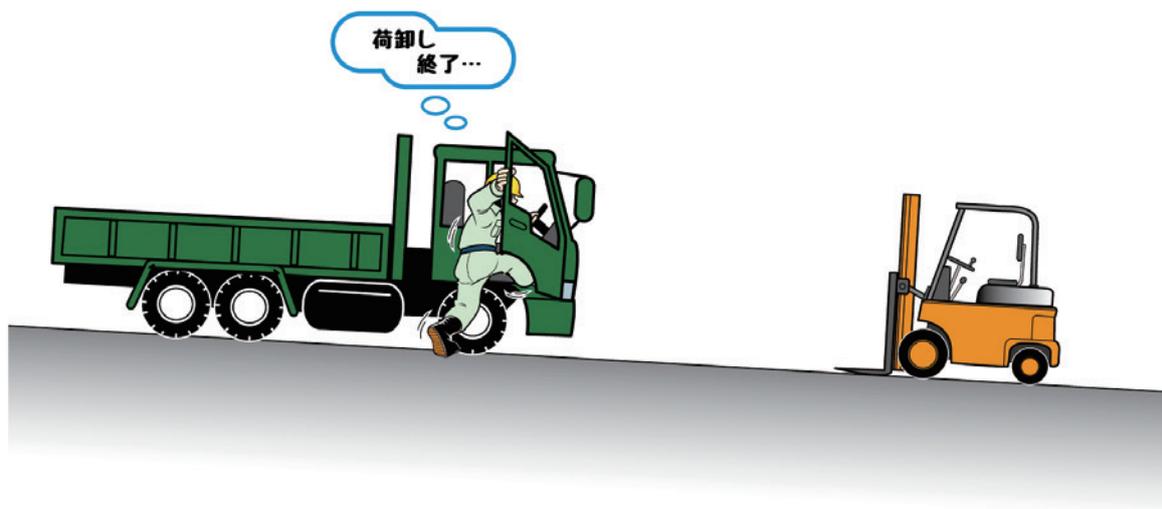
足場材の資材置場にて、積載形トラッククレーン(つり上げ荷重2.93 t)を使用し、結束された足場材60枚(835kg)をトラックの荷台から卸す際にトラックのタイヤが浮き、ゆっくりと転倒した。なお、転倒した際に5段ブームのうち、4段ブームが被災者の脊髄を押し<sup>せきずい</sup>のように激突し、死亡した。

### (安全対策の例)

- 1 荷役作業を行う前に、貨物自動車周辺の床・地面の凹凸等を確認すること。
- 2 アウトリガーは、安定した堅固な地面に敷板を用いて設置し、完全に張り出すこと。
- 3 クレーン等を用いて荷役作業を行う作業者は、有資格者とする事。
- 4 クレーンの定格荷重を守ること。

## 死亡災害 NO.4-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

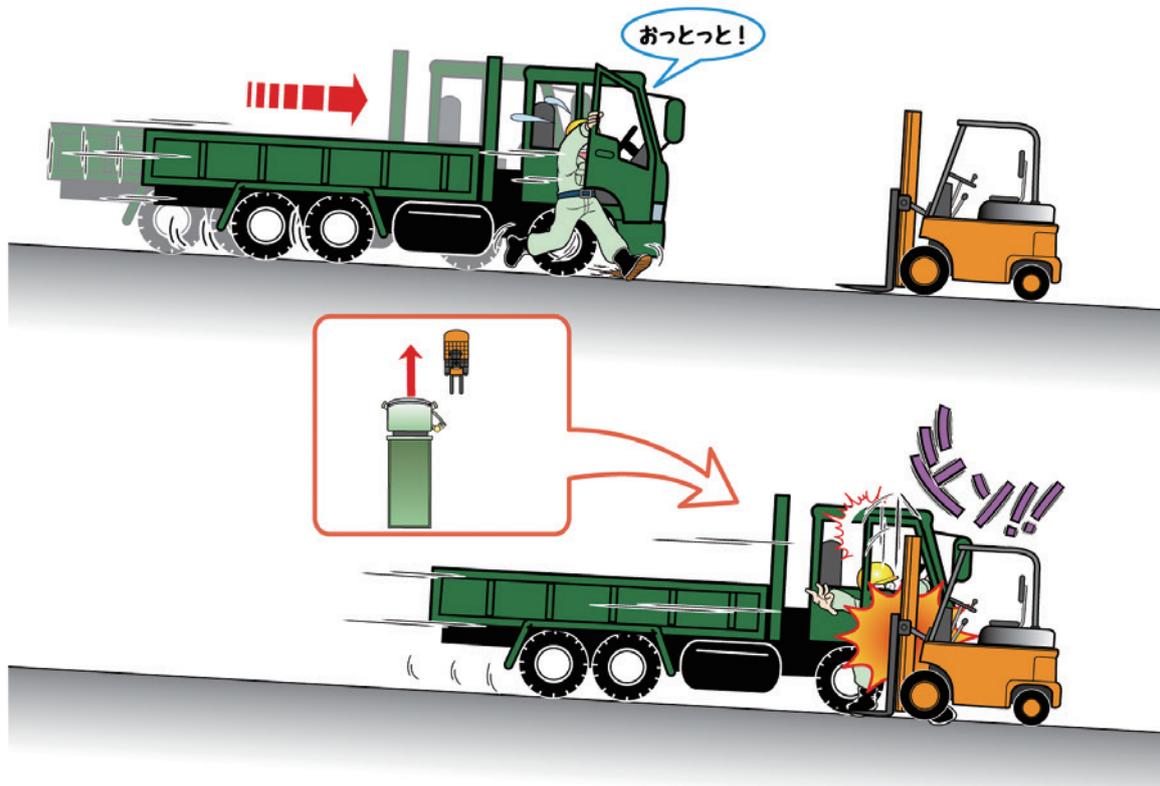


### (作業の状況)

資材センターにおいて、トラックの荷台からの荷卸し作業が終了し、トラックに乗り込もうとしています。

## 死亡災害 NO.4-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

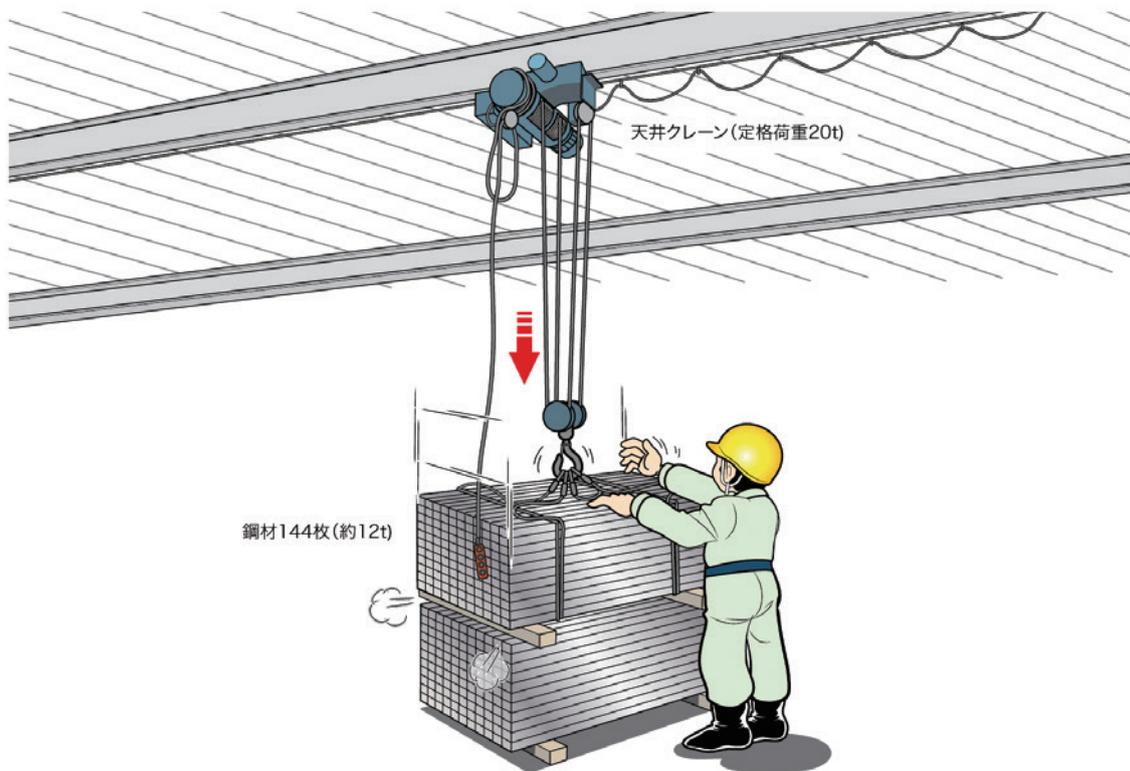
資材センターにおいて、トラック荷台からの荷卸し終了後、トラックが前方へ逸走、置いてあったフォークリフトにトラックのドアが激突したため、ドアとトラックの車体の間にいた被災者が挟まれ、死亡した。

### (安全対策の例)

- 1 トラックのエンジンを止め、サイドブレーキを掛けること。
- 2 傾斜地等、できるだけトラックの車輪止めを行うこと。
- 3 停車中の貨物自動車の逸走防止措置を確実にすること。万一、貨物自動車動き出したときは、止めようとしたり、運転席に乗り込もうとしないこと。

## 死亡災害 NO.5-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

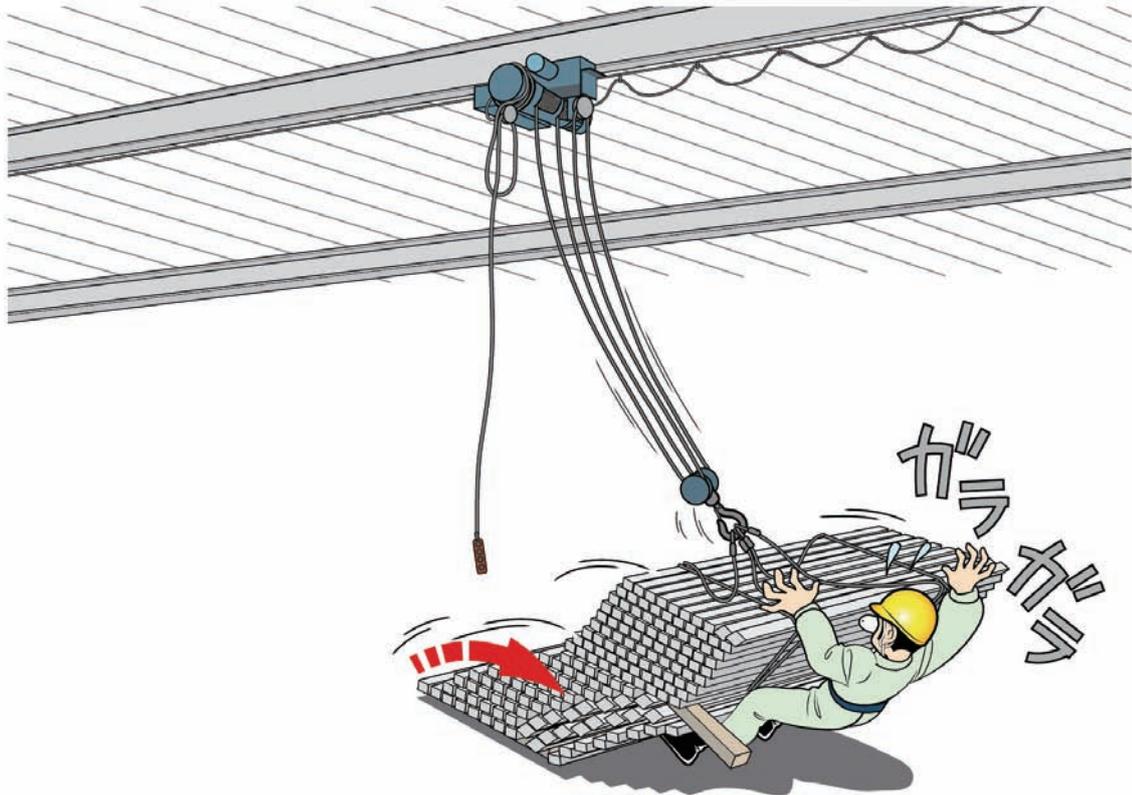


### (作業の状況)

トラックで運ばれてきた鋼材 144 枚(約 12 t)を、天井クレーン(定格荷重 20 t)を使用して、資材置場に先に積んであった鋼材の上に積み重ね、作業者が玉外しを行おうと近づいています。

## 死亡災害 NO.5-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

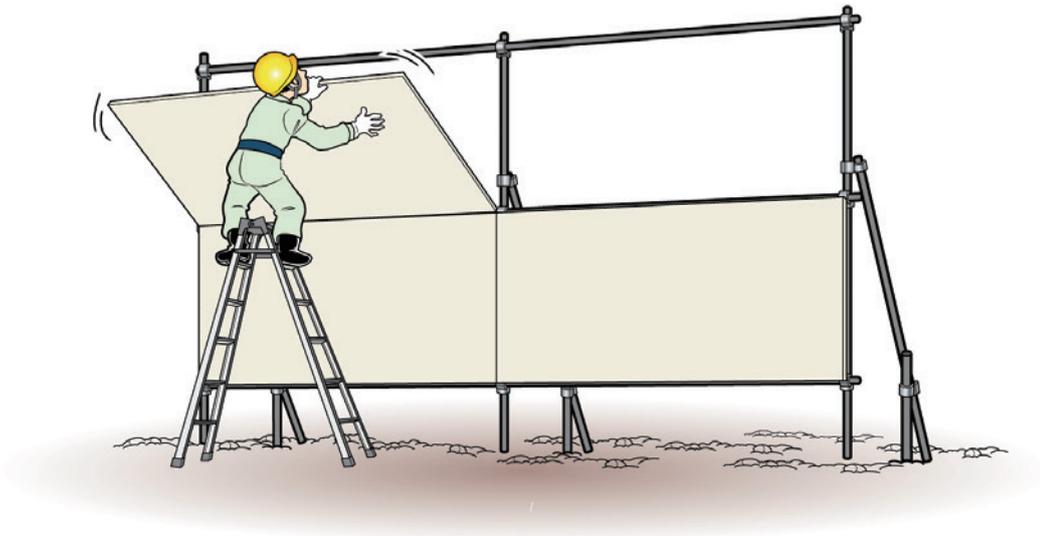
トラックで運ばれてきた鋼材 144 枚(約 12 t)を、天井クレーン(定格荷重 20 t)を使用して、資材置場に先に積んであった鋼材の上に積み重ね、被災者が玉外しを行おうと近づいたところ、直前に積んだ鋼材 144 枚が崩壊してその下敷きとなり、全身を強く圧迫され死亡した。

### (安全対策の例)

- 1 機材センターでの事例ではない可能性も考えられるが、敷鉄板等においても同様の事故が発生する可能性があるため、作業方法を確立する必要があること。
- 2 リンギ、バタ角の使い方や積み過ぎに注意すること。
- 3 玉掛け作業を行う作業者は、有資格者とする事。

## 死亡災害 NO.6-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

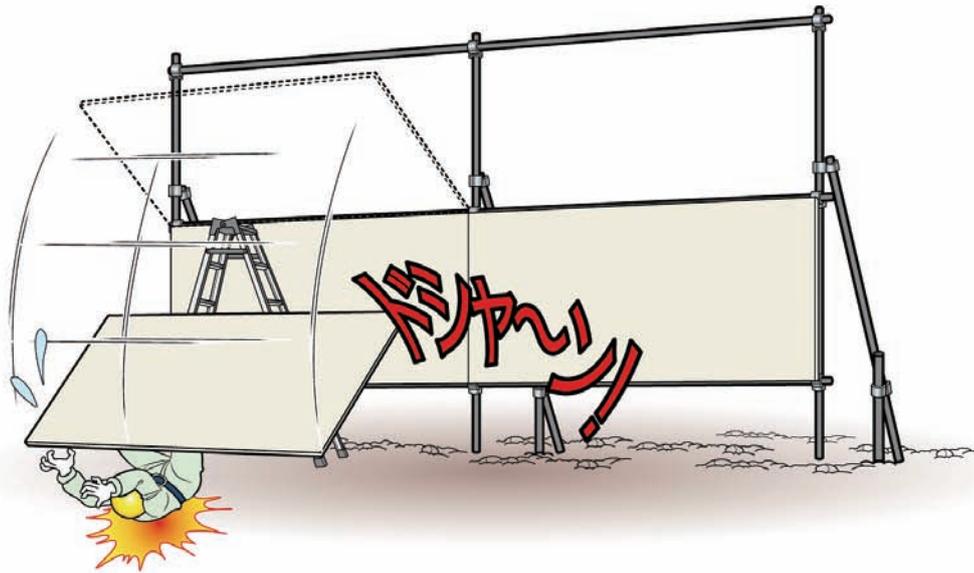


### (作業の状況)

資材置場にて、単管骨組みのコンパネ掲示板を作成する作業を行っています。一段目のコンパネを取り付け、さらにその上に二段目のコンパネを同様に取り付ける作業を行っています。

## 死亡災害 NO.6-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材置場にて、単管骨組みのコンパネ掲示板を作成する作業を行っていた。一段目のコンパネを取り付け、さらにその上に二段目のコンパネを同様に取り付ける作業を行っていたところ、バランスを崩し転落し、死亡した。なお、被災者は保護帽（飛来・落下物用、電気用）を着用していた。

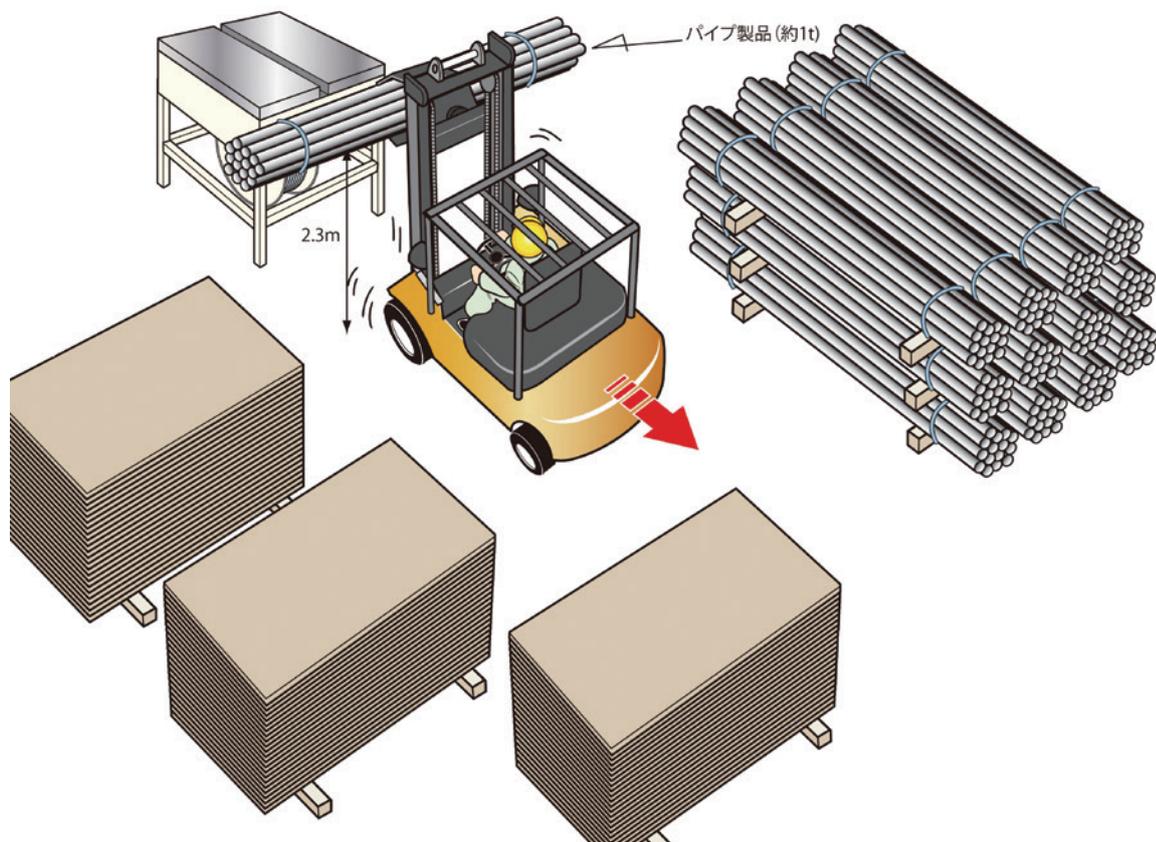
### (安全対策の例)

- 1 安全週間等のためのコンパネの設置等、慣れない作業であった可能性があり、こうした作業においても作業手順等を確立する必要があること。
- 2 作業指示書を出すこと。

## 死亡災害 NO.7-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？

どんな安全対策が考えられますか？

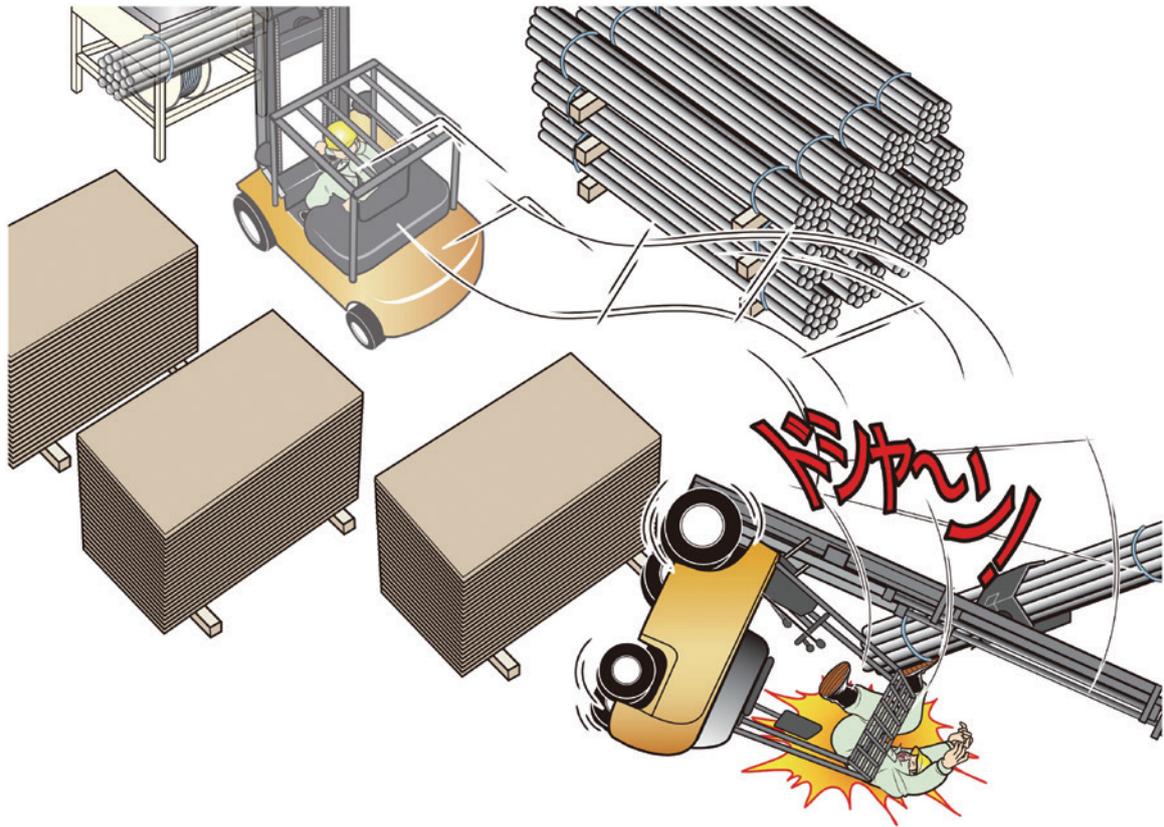


### (作業の状況)

作業者は結束機で束ねられたパイプ製品(約1 t)を結束機の横に仮置きしようとして、フォークリフト(2.5 t)のクランプではさんだ製品を地上から約2.3 mの高さに上げたまま、後方に積まれた別の製品をかわすため、バックしながらS字のように右から左にハンドルを切っています。

## 死亡災害 NO.7-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

被災者は結束機で束ねられたパイプ製品(約 1 t)を結束機の横に仮置きしようと、フォークリフト(2.5 t)のクランプではさんだ製品を地上から約 2.3 mの高さに上げたまま、後方に積まれた別の製品をかわすため、バックしながら S 字のように右から左にハンドルを切ったところ、急旋回動作となって車体が転倒し、ヘッドガードと床面の間に腰部をはさまれ死亡した。

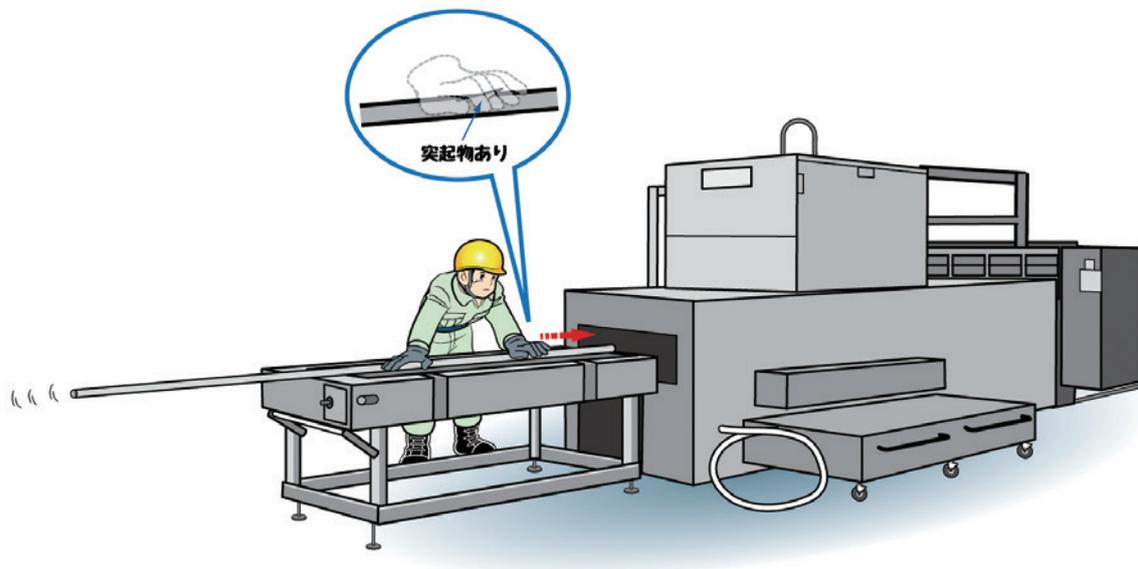
### (安全対策の例)

- 1 フォークリフトの急停止、急旋回を行わないこと。
- 2 S 字作業にならないように場内のレイアウトを十分検討し、整理整頓を行うこと。
- 3 フォークリフトの動線を確保すること。
- 4 フォークリフトの運転者は、有資格者とする事。

## 負傷災害 NO.1-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？

どんな安全対策が考えられますか？

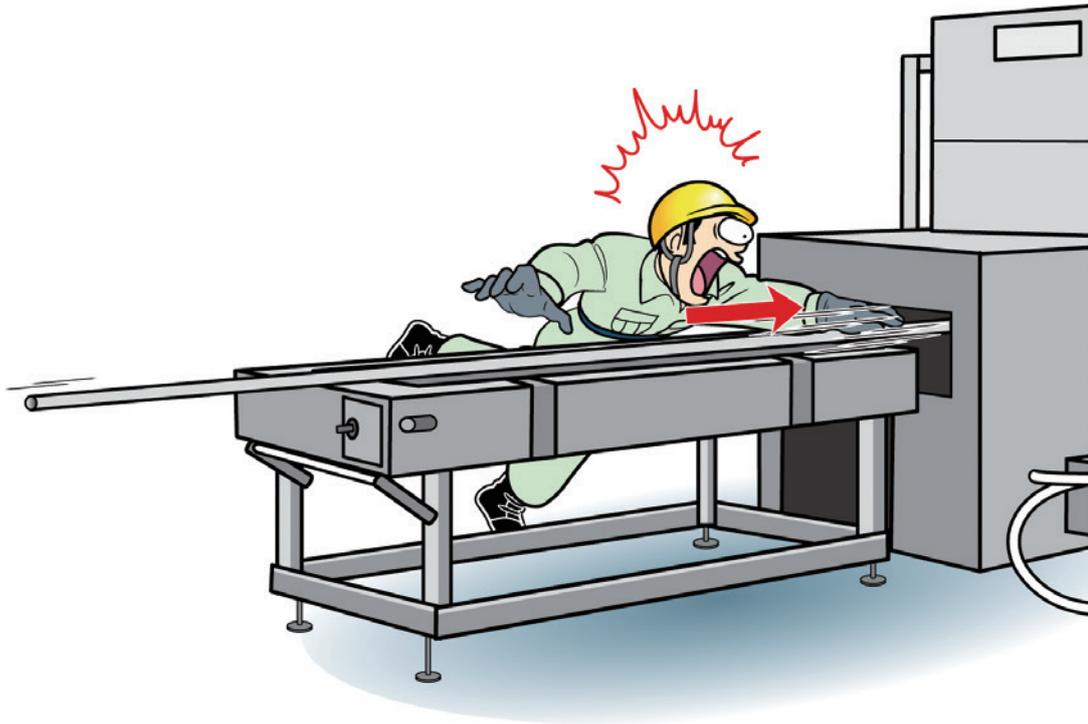


### (作業の状況)

作業者が単独でパイプケレン機で作業中、3.5 mの単管パイプをパイプケレン機の中に入れようとしています。

## 負傷災害 NO.1-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材置場にて被災者が単独でパイプケレン機で単管パイプのケレン、整理作業中、挿入した単管パイプ 3.5 mの突起物に手袋が引っ掛りそのまま機械に巻き込まれ受傷した。

直ぐ機械を反転させ手を引き抜き救護を求めた。作業自体に慣れ、マンネリ化が生じていた。当時蒸し暑い気候であった事から、注意力が低下して起きたものと考えられる。

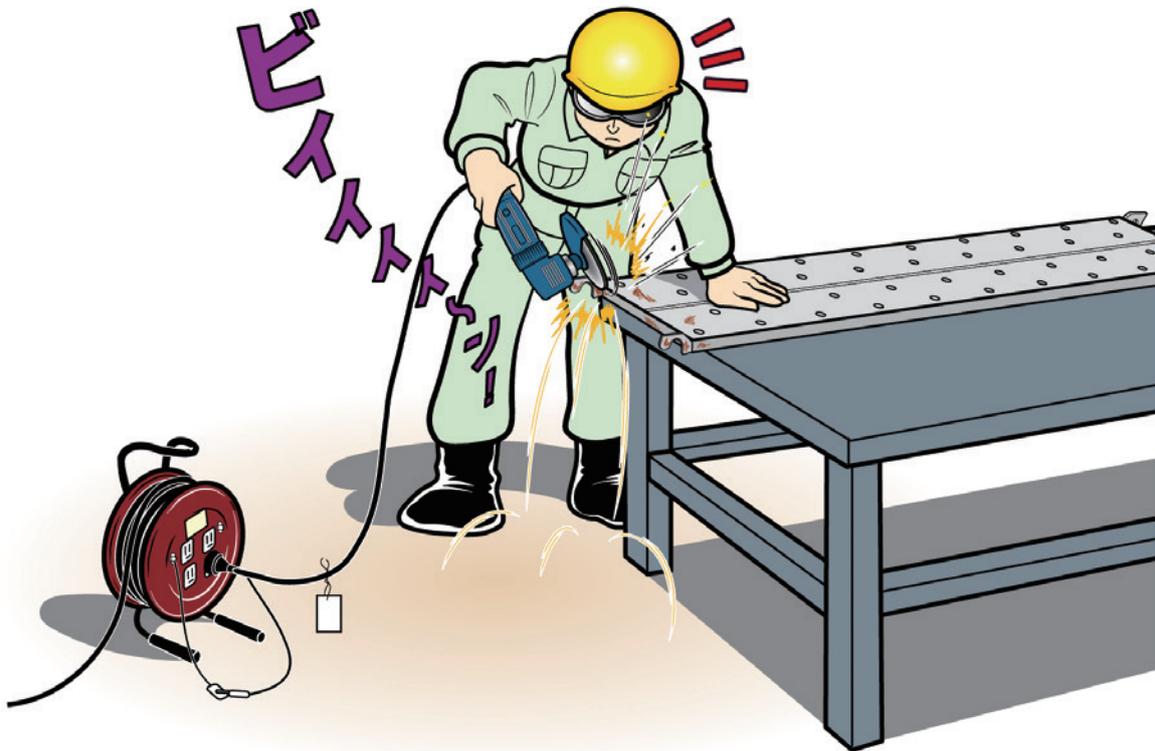
機械に注意表示、巻き込まれ防止対策がなされていなかった。手袋が厚手のものであった。

### (安全対策の例)

- 1 パイプケレン機の手が届く位置に非常停止ボタン等を設けること。
- 2 手袋は作業に適したものを使用すること。例えば、必要により機材等が引っ掛かり易い軍手では無く、皮手袋又はゴム手袋を使用すること。
- 3 機械に安全対策上の表示を行うこと。

## 負傷災害 NO.2-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？



### (作業の状況)

作業場で、仮設機材のサビを落とすため、作業用保護眼鏡を使用してグラインダー作業をしています。

## 負傷災害 NO.2-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

作業場で、仮設機材のサビを落とすためグラインダーを使用して作業していた。作業用保護眼鏡は使用していたが鉄くずの粉末が眼に入ったように思ったが、特に症状が出なかった。10/8朝、眼に異常をおぼえ鏡を見ると白濁する部分があり、赤く腫れ上がっていた。B眼科医院で治療や検査を受けた。後で事業主がC先生に連絡をしたところ粉じん<sup>ほくじん</sup>で眼を痛め、化膿したように思われるというお話をいただいた。

本人ははじめ事業主に申し訳ないという気持ちのためか、眼を手でこすったと言っていたが、きちんと問いただしてみると、眼のふちをこすったと言い方を変更した。10/10～10/11を経過しても症状が良くならないので、C先生は本人を連れてD病院に10/12転院させた。即、検査入院となった。

### (安全対策の例)

保護メガネは、保護メガネの横から異物が入らないように適切なものを正しく使用すること。

## 負傷災害 NO.3-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

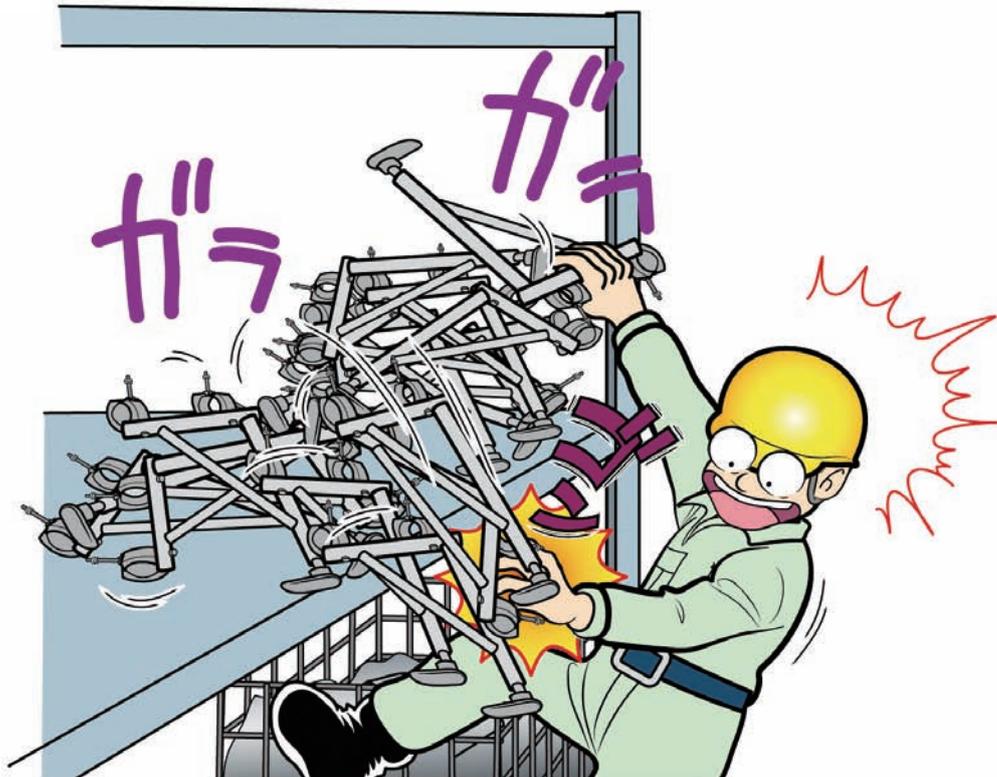


### (作業の状況)

資材置場の整理片付け中に、積まれていた資材（ブラケット）を取ろうとしています。

## 負傷災害 NO.3-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

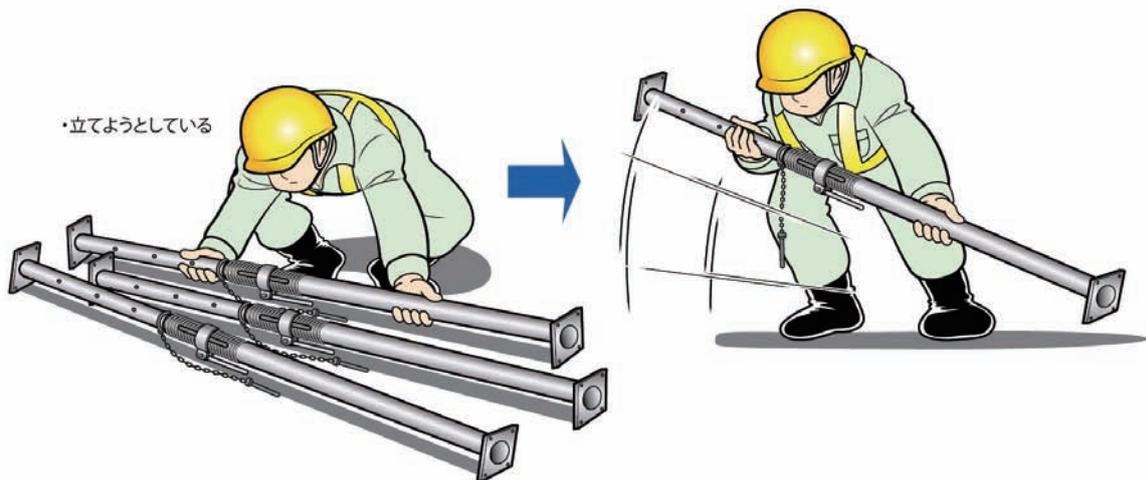
資材置場の整理片付け中に、積まれていた資材（ブラケット）が一部くずれ左中指に当たり負傷した。

### (安全対策の例)

資材の保管格納基準を定め、それに基づいて行うこと。

## 負傷災害 NO.4-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？



### (作業の状況)

資材置場にて、パイプサポートを整備中、横に置いてあったパイプサポートを持ち上げて、立てようとしています。

## 負傷災害 NO.4-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

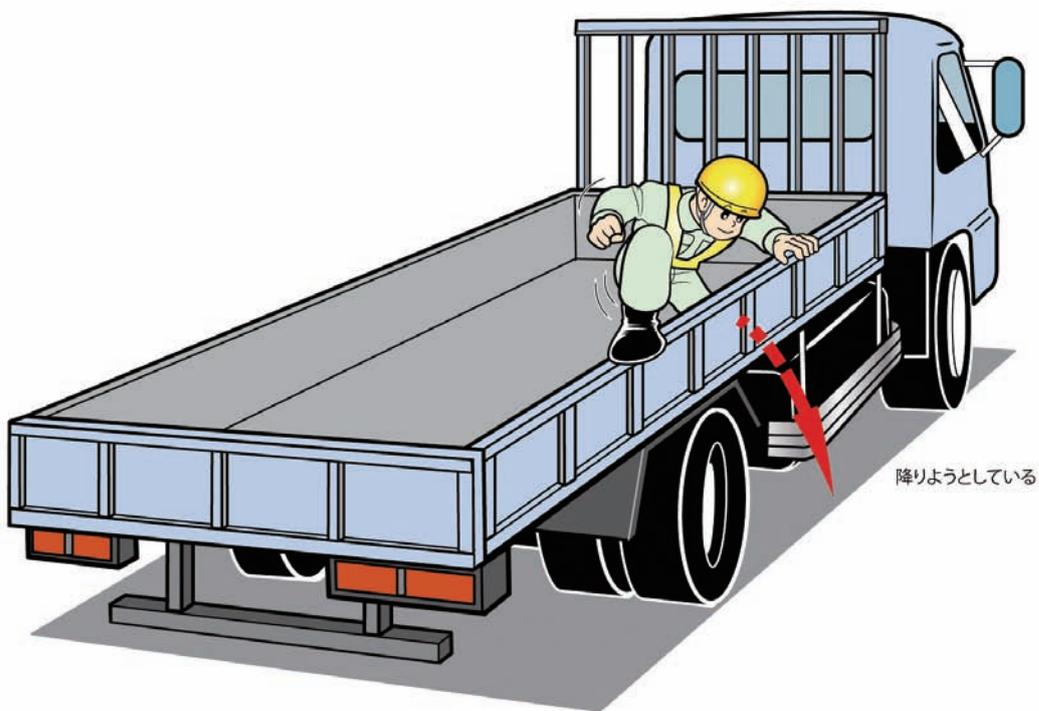
資材置場にて、パイプサポートを整備中、横に置いてあったものを立てようとして持ち上げたところ、支持ピンが入っておらず受け板部分が下に落下、親指の先をはさみ、親指第一関節部を骨折した。

### (安全対策の例)

- 1 パイプサポートの整備を行う場合は、作業台を用いて横にした状態で作業を行うことができるようにすること。
- 2 安全衛生教育を実施すること。

## 負傷災害 NO.5-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

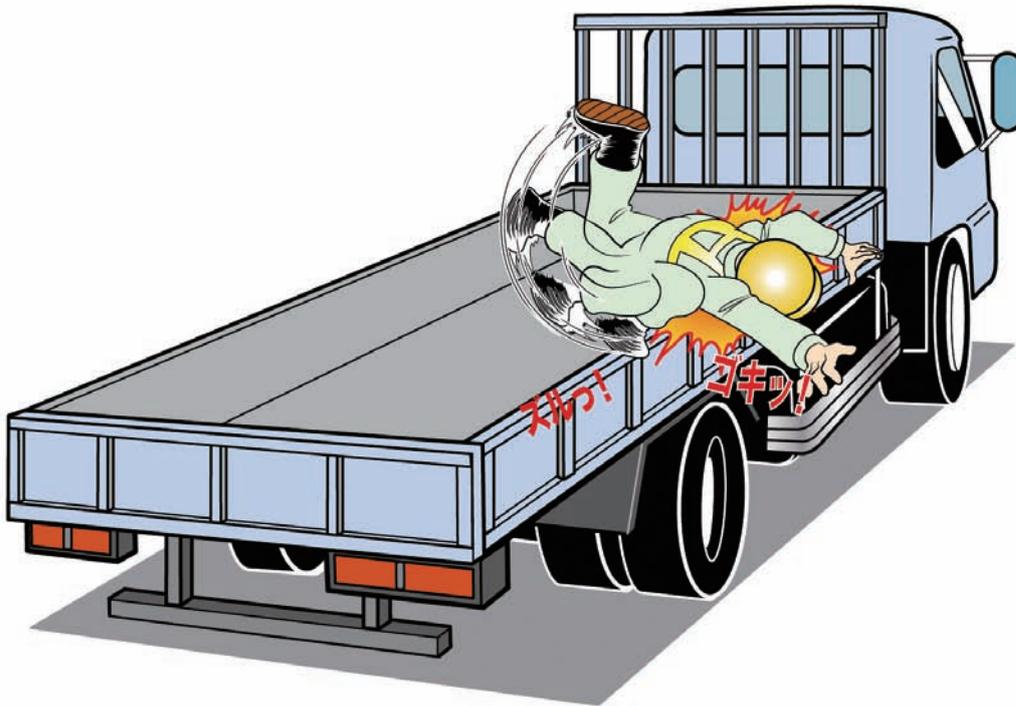


### (作業の状況)

資材置場にてトラックの荷台から降りようとしています。

## 負傷災害 NO.5-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材置場にてトラックの荷台から降りる際、足を滑らせ、トラックのあおりにアバラをうち、アバラの骨にひびが入った。

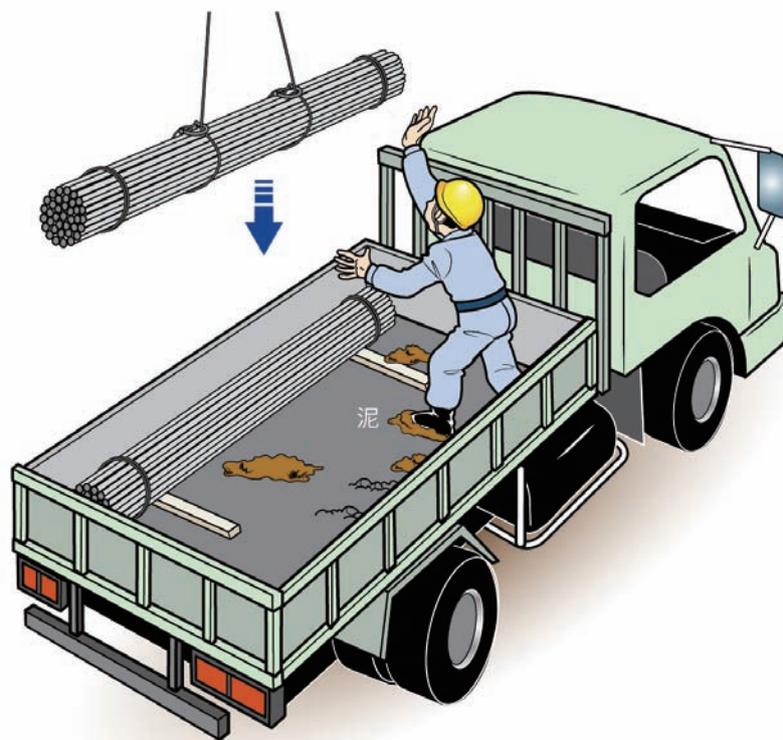
### (安全対策の例)

- 1 機材センターで昇降設備等の墜落・転落防止のための施設、設備を用意すること。
- 2 貨物自動車の荷台への昇降は、昇降設備を使用すること。
- 3 雨天時等滑り易い状態で作業を行う場合には、耐滑性のある靴（Fマーク）を使用すること。

## 負傷災害 NO.6-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？

どんな安全対策が考えられますか？

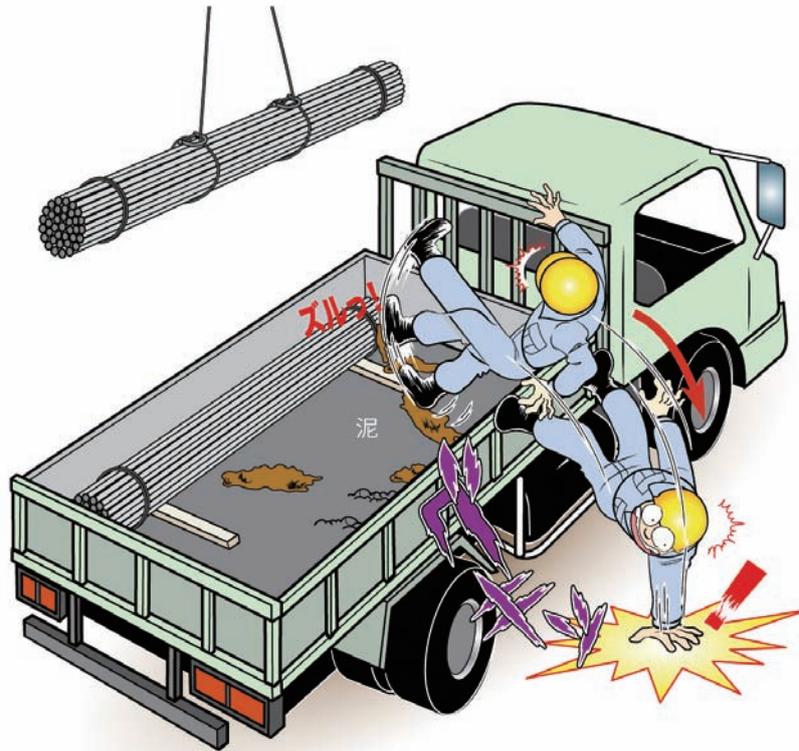


### (作業の状況)

事務所の資材置場で、4 t ダンプに単管パイプの積み込み作業をしています。

## 負傷災害 NO.6-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

事務所の資材置場で、4 t ダンプに単管パイプの積み込みをしていた際、泥で汚れたダンプの荷台で足を滑らせ転落し、左手首を強打した。

### (安全対策の例)

- 1 機材センターで昇降設備等の墜落・転落防止のための施設、設備を用意すること。
- 2 雨天時等滑り易い状態で作業を行う場合には、耐滑性のある靴（Fマーク）を使用すること。
- 3 ダンプの荷台鉄板は滑り易いので、危険予知活動を実施しておくこと。
- 4 玉掛け作業を行う作業者は、有資格者とすること。

## 負傷災害 NO.7-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？



### (作業の状況)

取引先の資材置場へ仮設資材を貸りに行き、資材を軽トラックに積み込む作業をしています。

## 負傷災害 NO.7-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

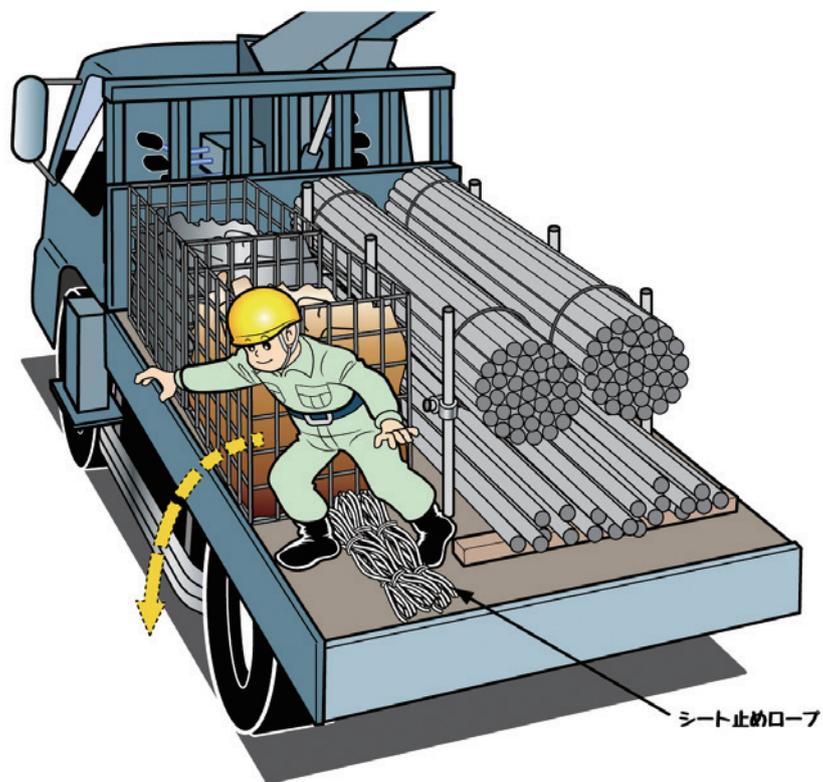
取引先の資材置場へ仮設資材を貸りに行き、資材を自社の軽トラックに積み込む作業をしている時、仮置きしておいたため不安定になっていた資材が倒れ、右足が下敷きとなり受傷した。

### (安全対策の例)

機材を立て掛ける等不安定な状況で仮置きしないこと。

## 負傷災害 NO.8-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

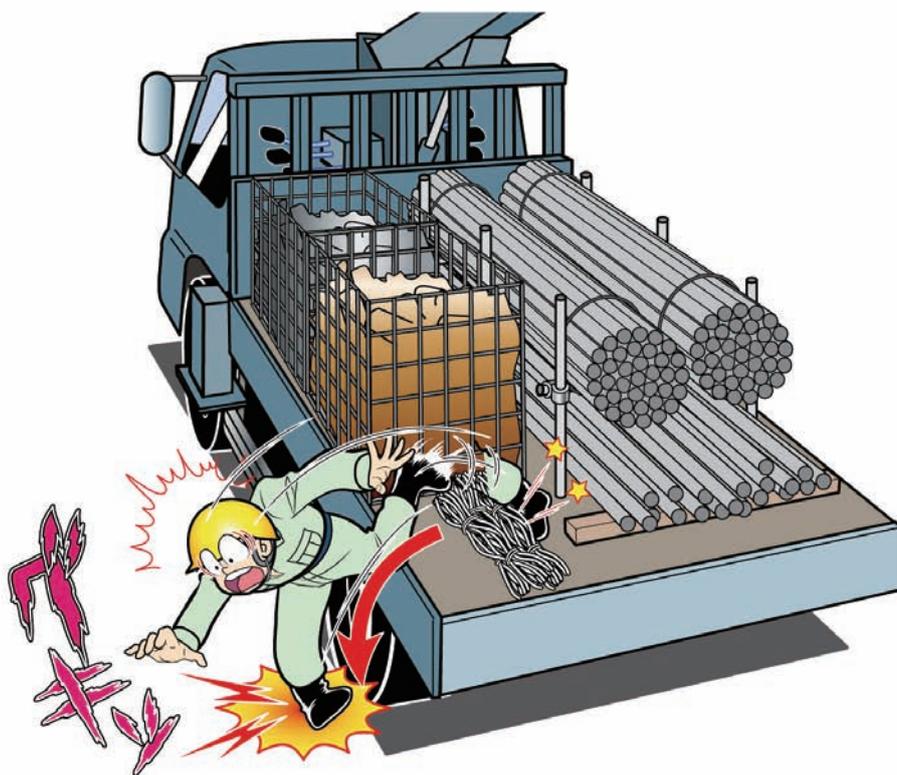


### (作業の状況)

資材置場において、2 tトラックに資材の積込み作業中、トラックの荷台から降りようとしています。

## 負傷災害 NO.8-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材置場において、2 tトラックに資材の積み込み作業中、トラックの荷台から降りようとした際、シートの止めロープに足をとられてしまい、不自然な姿勢で着地したため、腰、右足をひねり負傷した。

### (安全対策の例)

- 1 機材センターで昇降設備等の墜落・転落防止のための施設、設備を用意すること。
- 2 貨物自動車の荷台への昇降は、昇降設備を使用すること。

## 負傷災害 NO.9-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？



### (作業の状況)

資材置場において、ダンプに積載された資材を片付け作業中、雨ふりの中、ダンプから降りようとしています。

## 負傷災害 NO.9-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

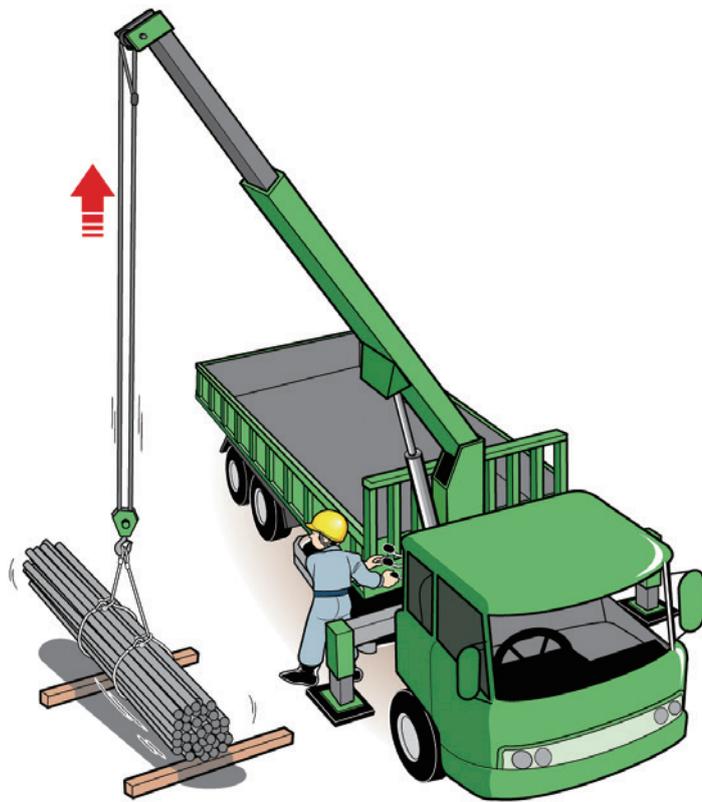
資材置場において、ダンプに積載された資材を片付け作業中、ダンプから降りる際、雨ふりのため足が滑り、ダンプのステップにぶつけた。

### (安全対策の例)

- 1 機材センターで昇降設備等の墜落・転落防止のための施設、設備を用意すること。
- 2 貨物自動車の荷台への昇降は、昇降設備を使用すること。
- 3 雨天時等滑り易い状態で作業を行う場合には、耐滑性のある靴（Fマーク）を使用すること。

## 負傷災害 NO.10-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

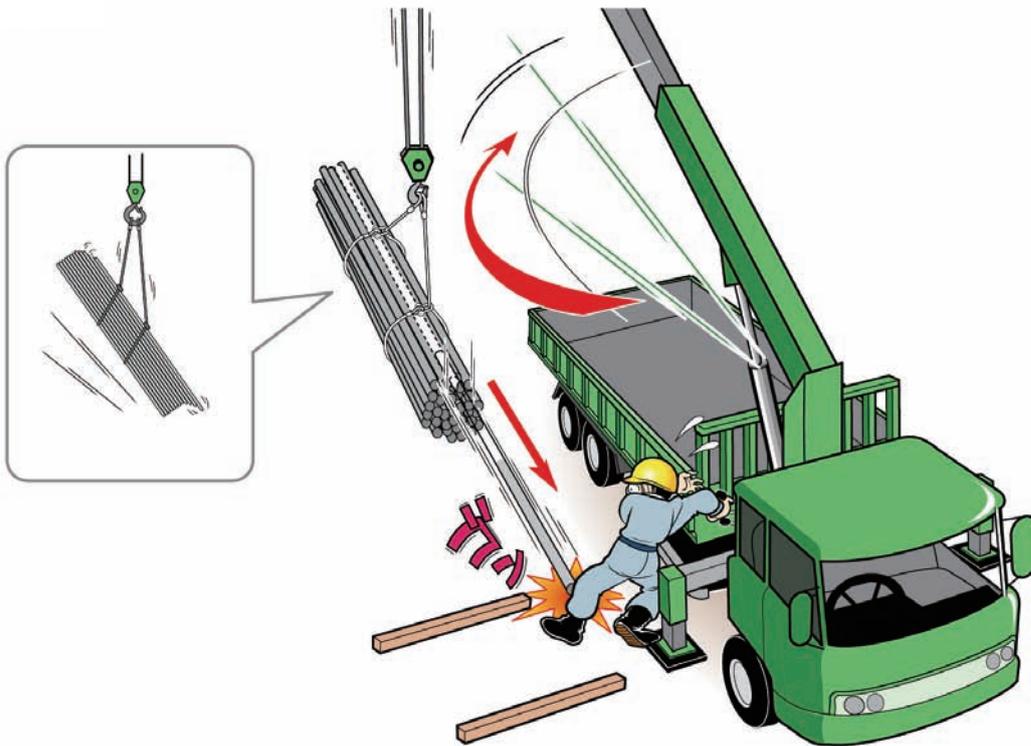


### (作業の状況)

資材置場において4 t積載形トラッククレーンのクレーンを使用し、単管パイプの資材整理をするため、単管パイプ50本程を束にして吊り上げています。

## 負傷災害 NO.10-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

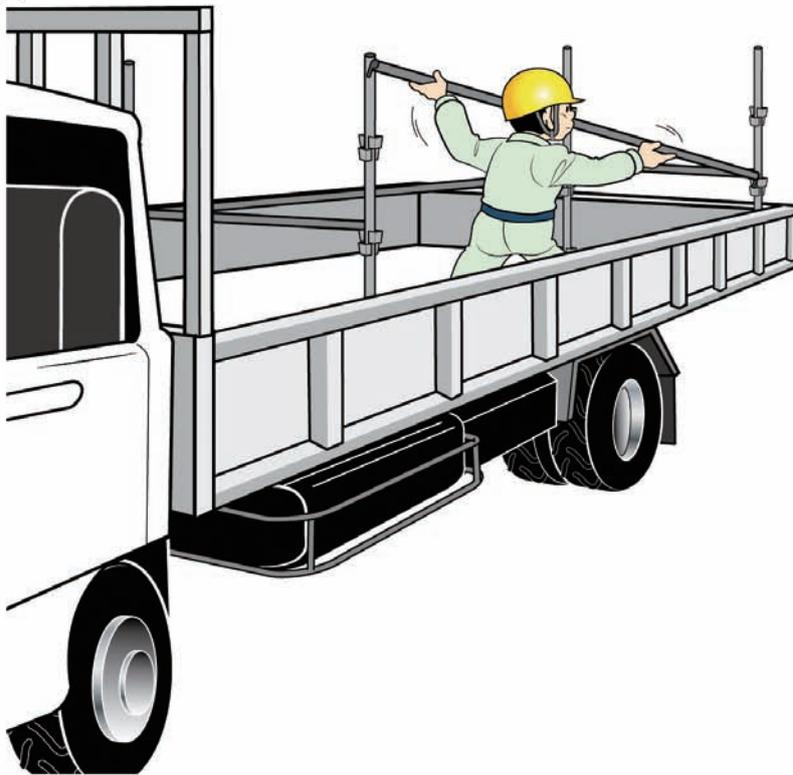
資材置場において4 t積載形トラッククレーンのクレーンを使い、単管パイプの資材整理をするため単管パイプ50本程を束にし、吊り上げたところ、バランスがとれず斜めになり、単管パイプが崩れ落ち、そのうちの1本が被災者の足にぶつかり負傷する。

### (安全対策の例)

- 1 作業方法を確立すること。
- 2 資材を吊り上げる時は、資材が抜けないような適切な玉掛けとすること。
- 3 クレーン等を用いて荷役作業を行う作業者は、有資格者とすること。

## 負傷災害 NO.11-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

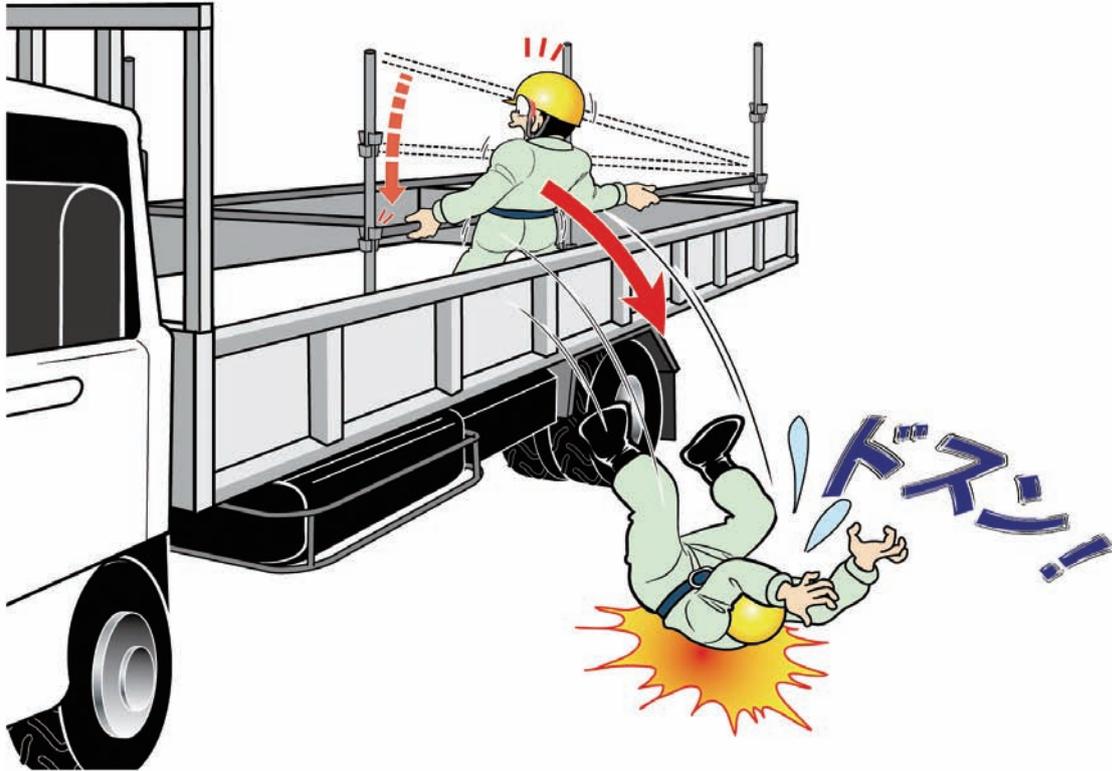


### (作業の状況)

資材置場において、預っていた単管パイプを取りに行き、4 t 積載形トラッククレーンの荷台上で荷崩れ防止のため単管枠を組む作業をしています。

## 負傷災害 NO.11-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材置場において、敷地に置けなかったため、A（株）の資材置場に預っていた単管パイプを取りに行き、4 t 積載形トラッククレーンの荷台上で荷崩れ防止のため単管枠を組む作業をしていた際、バランスをくずし荷台から地面に後ろ向きに転落し被災した。

### (安全対策の例)

- 1 荷や荷台の上で作業を行う場合は、荷台端付近で背を荷台外側に向けないようにし、後ずさりしないこと。
- 2 作業を行うときは、作業手順を確立し、地上での作業とすること。

## 負傷災害 NO.12-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

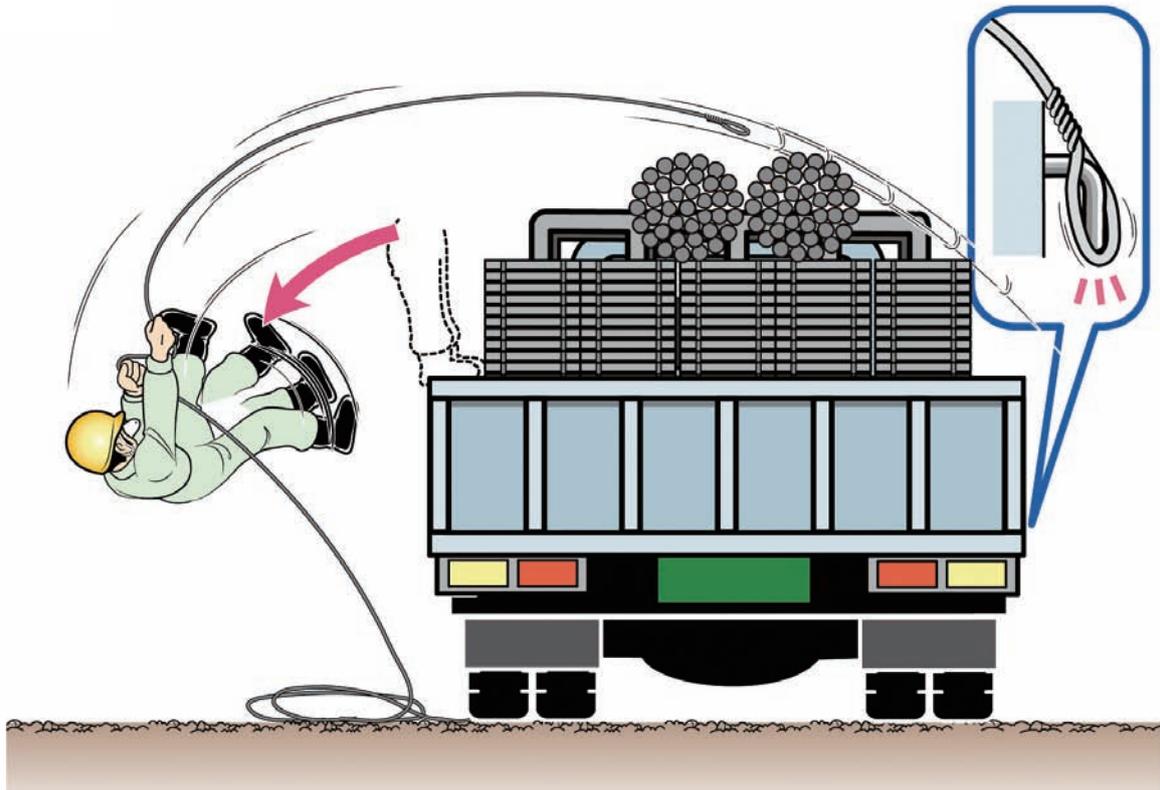


### (作業の状況)

作業者（職長）単独で資材置場から貨物自動車で長さ3 mから4 mの単管パイプを荷台に積み込み、荷台の上でロープをかけ、締付けようとしています。

## 負傷災害 NO.12-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

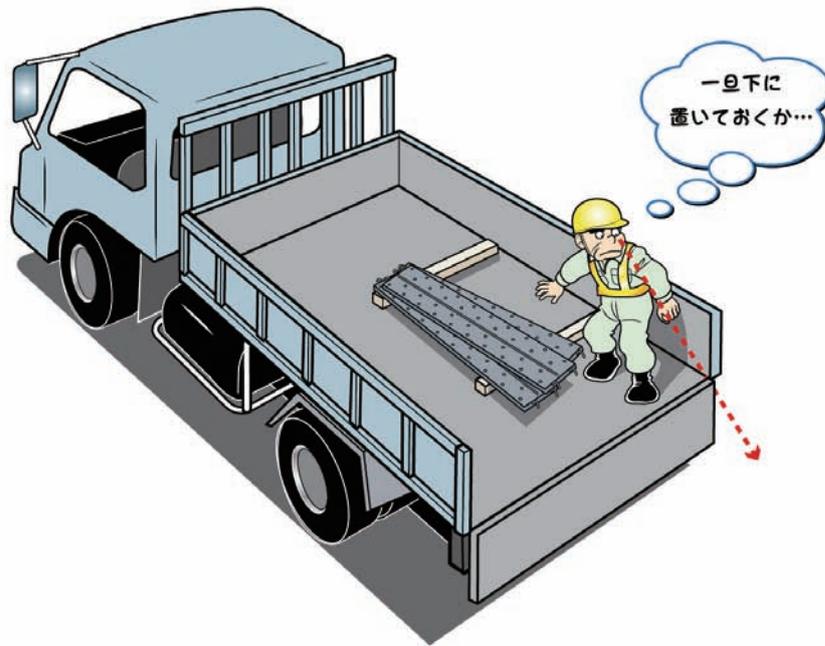
被災者（職長）単独で資材置場から貨物自動車で単管パイプ、長さ3 mから4 mを荷台に積み込み、荷台の上でロープをかけ、締付けようとした時、ボディーのフックに掛けていたはずの締付け用ロープの端が外れ、ロープと共に高さ約1.2 mの荷台より背面から地面に転落し、約6週間のケガ（脊柱圧迫骨折）をした。

### (安全対策の例)

- 1 機材センターで昇降設備等の墜落・転落防止のための施設、設備を用意すること。
- 2 荷締め、ラッピング、ラベル貼り等の作業は、荷や荷台の上で行わず、できる限り地上から行うか又は地上での作業とすること。

## 負傷災害 NO.13-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

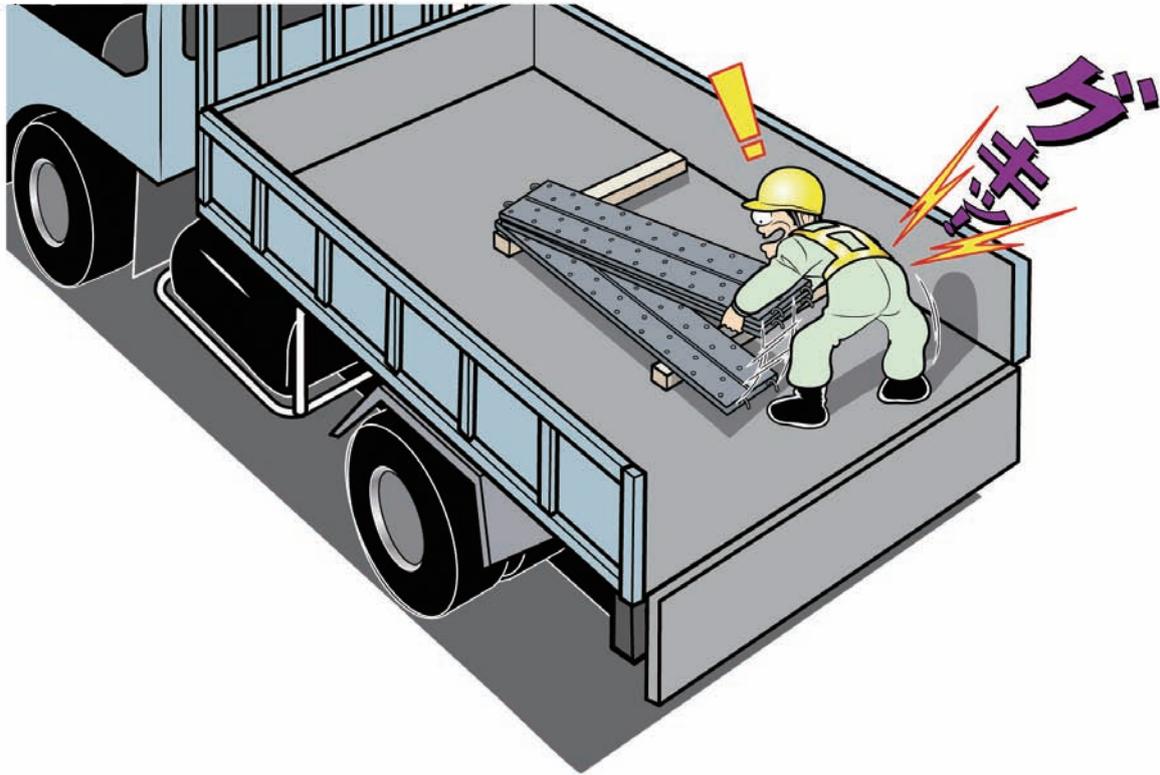


### (作業の状況)

資材置場において、駐車しているトラックの荷台にある不要な足場材や廃材の片付けや仕分けをするため、一旦地面に卸して別のトラックの荷台に移し替えることとし、足場材を持ち上げようとしています。

## 負傷災害 NO.13-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

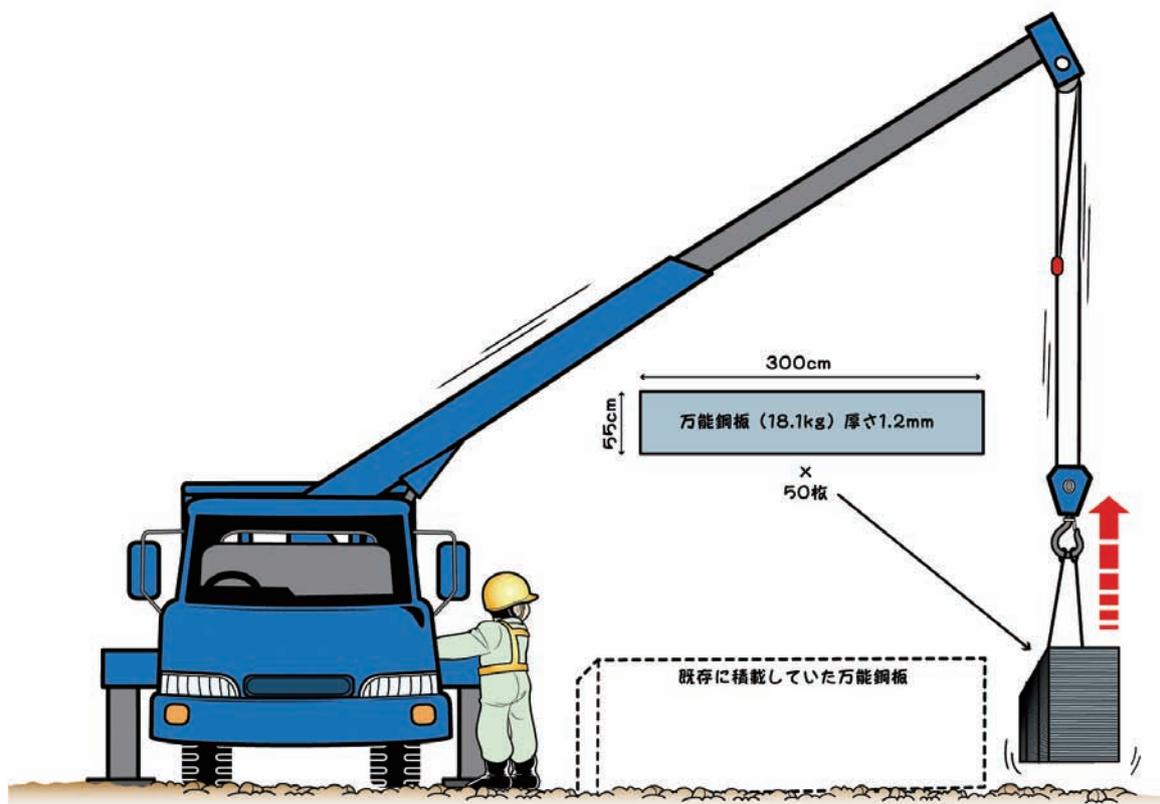
資材置場において、駐車しているトラックの荷台に不要な足場材や廃材があり、それを片付けや仕分けをするため、一旦地面に卸し、別のトラックの荷台に移し替える時、足場材を持ち上げた瞬間に腰に異常を感じる。すぐに病院に行かず整体等に通っていたが、痛みが取れないため病院に行く。

### (安全対策の例)

- 1 職場における腰痛予防対策指針（平成6年9月6日付け基発第547号）で示された各対策（満18歳以上の男子労働者が人力のみにより取り扱う重量は、55kg以下にすること、また、当該男子労働者が、常時、人力のみにより取り扱う場合の重量は、当該労働者の体重のおおむね40%以下となるように努めること等）を講じること。
- 2 重量が大きい荷は、2人以上で扱うこと。

## 負傷災害 NO.14-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

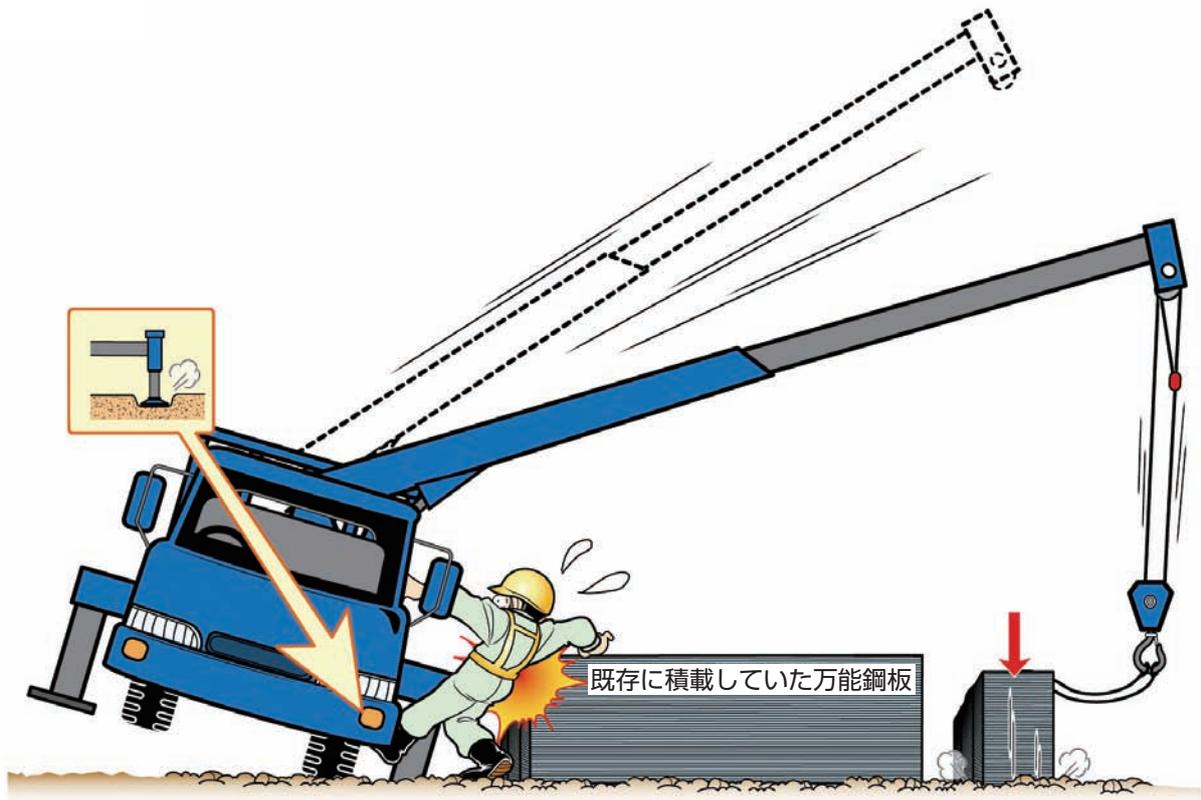


### (作業の状況)

資材センターにおいて、積載形トラッククレーン（普通貨物自動車、3.5 t 積）に現場で使用する仮囲い用の万能鋼板（1枚：幅 55cm、長さ 300cm、厚さ 1.2mm、重さ 18.1kg）を積み込み中、50 枚の万能鋼板を 2 t クレーンで吊り上げています。

## 負傷災害 NO.14-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

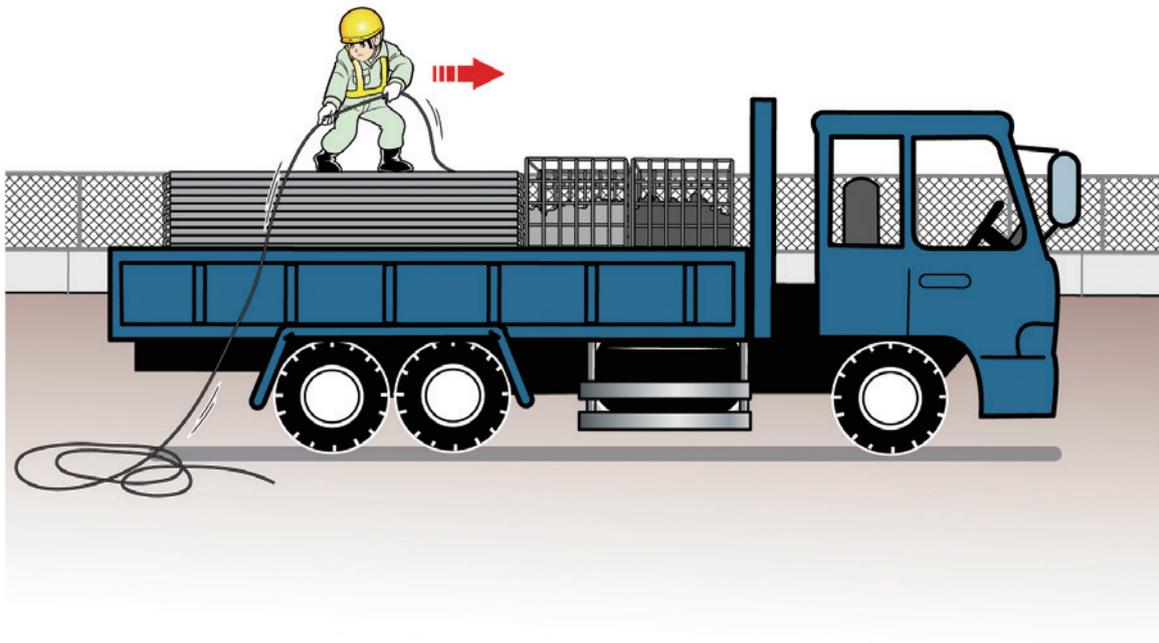
資材センターにおいて、トラック（普通貨物自動車 3.5 t 積）に現場で使用する仮囲い用の万能鋼板（1 枚：幅 55cm、長さ 300cm、厚さ 1.2mm、重さ 18.1kg）をトラックに据付けのクレーン（2 t 吊り）にて積み込み中、50 枚の万能鋼板を積載形トラッククレーンで吊り上げた時、アウトリーガーを出していたにもかかわらずトラックが傾き、助手席ドアと既存に積載していた万能鋼板の間に挟まれた。

### (安全対策の例)

- 1 荷役作業を行う前に、貨物自動車周辺の床・地面の凹凸等を確認すること。
- 2 アウトリーガーは、安定した堅固な地面に敷板を用いて設置し、完全に張り出すこと。
- 3 クレーン等を用いて荷役作業を行う労働者は、有資格者とする事。
- 4 クレーンの定格荷重を守ること。

## 負傷災害 NO.15-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？



### (作業の状況)

資材置場において、移動させる仮設資材をトラックに積み込み中、資材を固定しようと資材の上に乗る、前に移動しようとしています。

## 負傷災害 NO.15-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材置場において、仮設資材の移動のため、仮設資材をトラックに積み込み中、資材を固定しようと資材の上に乗る、前に移動しようとした時に資材に足を引っ掛け、その際、バランスを崩し、高さ約 2.6 mより地面に転落し、負傷したもの。

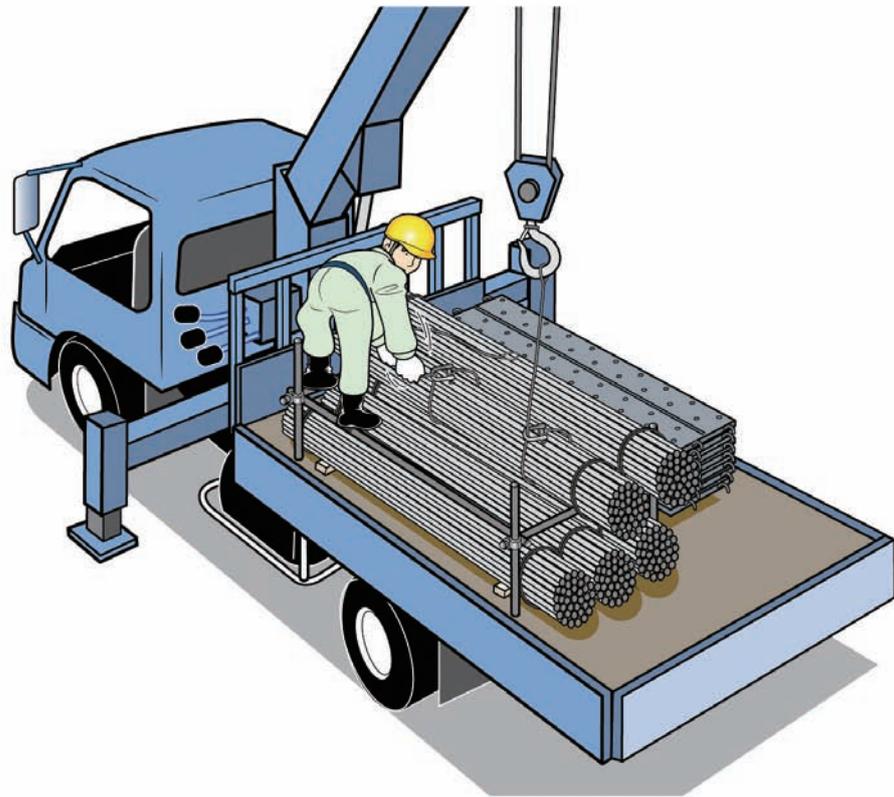
### (安全対策の例)

- 1 不安定な荷の上では、できる限り移動しないこと。
- 2 表示等により高所作業の認知をさせること。
- 3 荷の最上部に乗らない作業方法とすること。

## 負傷災害 NO.16-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？

どんな安全対策が考えられますか？

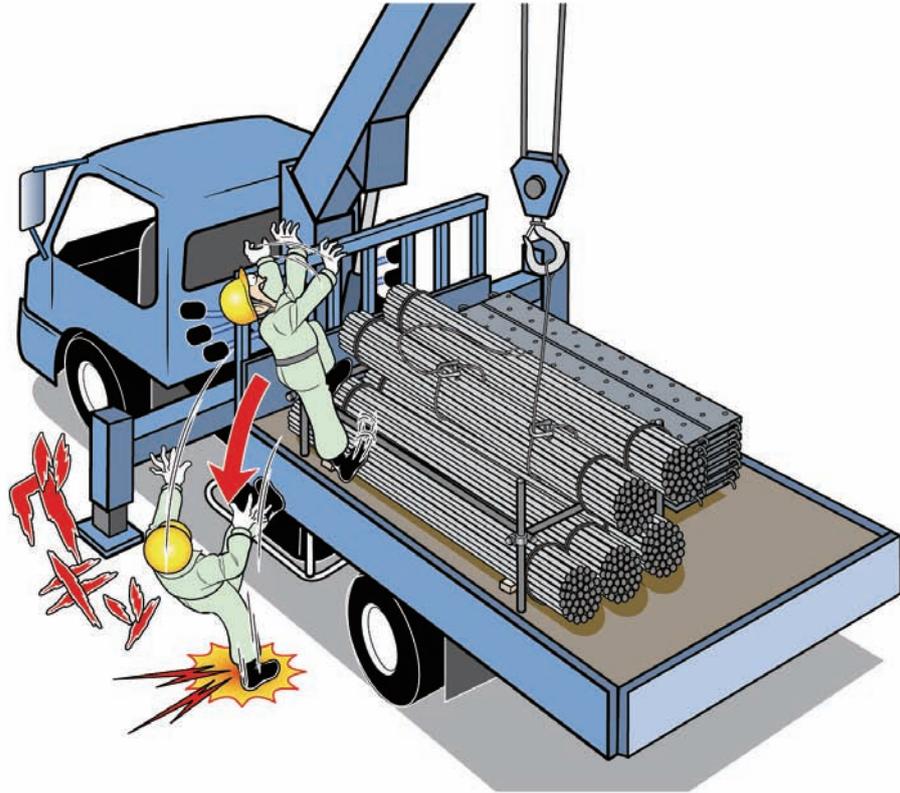


### (作業の状況)

資材センターで、現場から引き取ってきた仮設材を8 t積載形トラッククレーンから荷卸しする作業中、荷台上の仮設材に乗り、クレーンで吊り下げるためのワイヤーロープを掛けています。

## 負傷災害 NO.16-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材センター内で、現場から引き取ってきた仮設材を8 t積載形トラッククレーンから荷卸しする作業中、積載形トラッククレーンの荷台上の仮設材に乗りクレーンで吊り下げるためのワイヤーロープを掛けていたところ、足を踏み外して地面に左足踵かかとから転落して骨折した。

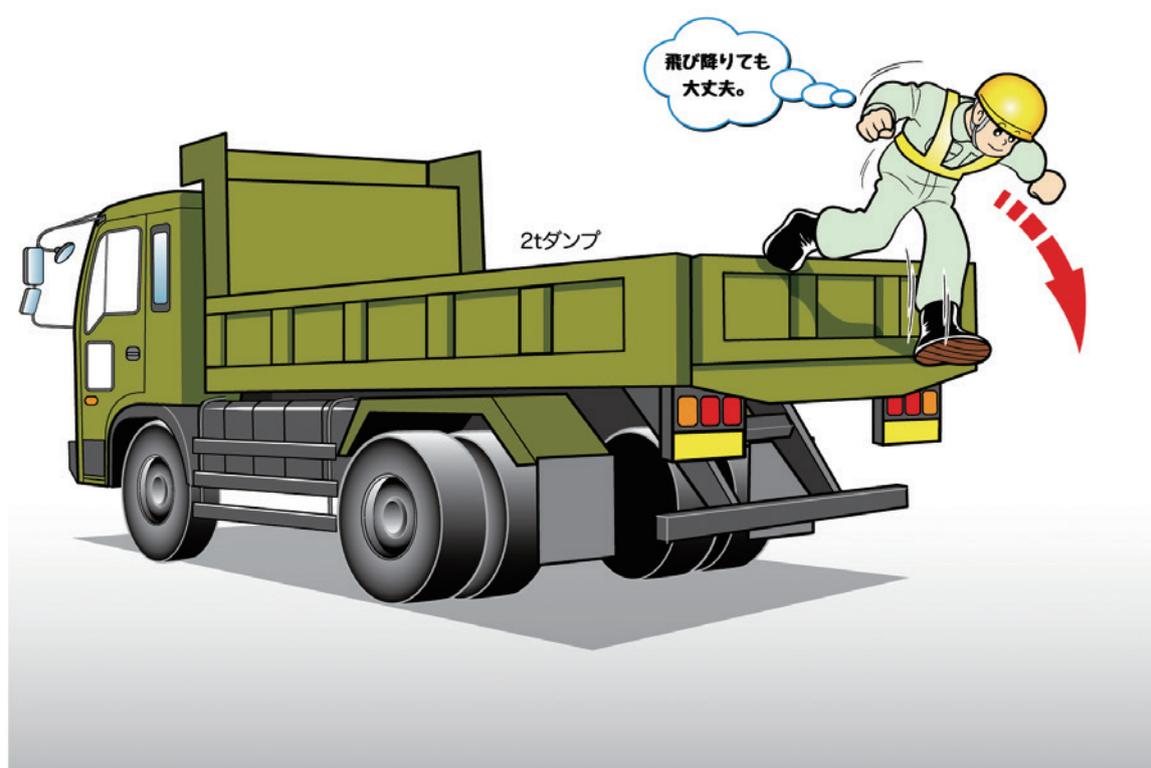
### (安全対策の例)

- 1 玉掛けをするための作業床を設置すること。
- 2 荷や荷台の上で作業を行う場合は、荷台端付近で背を荷台外側に向けないようにし、後ずさりしないこと。
- 3 玉掛け作業を行う作業者は、有資格者とする。

## 負傷災害 NO.17-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？

どんな安全対策が考えられますか？

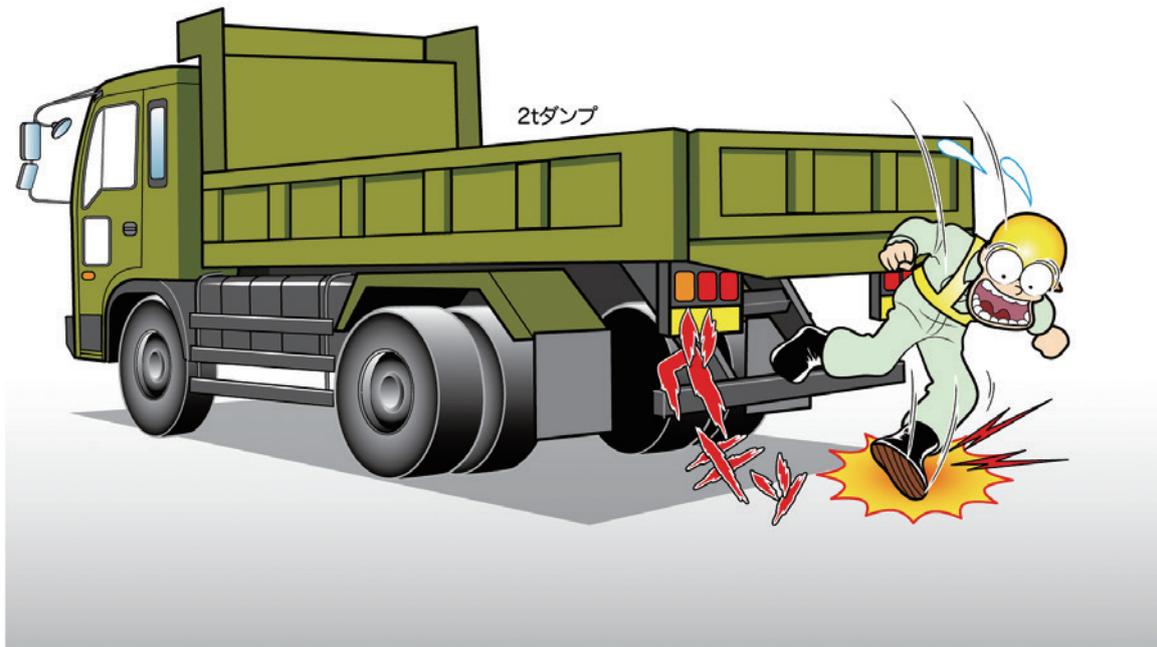


### (作業の状況)

資材置場で2 t ダンプより資材の荷卸し完了後、荷台あおりから飛び降りようとしています。

## 負傷災害 NO.17-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材置場で2 t ダンプより資材の荷卸し完了後、荷台あおりから着地の際、自分では大丈夫だと思い飛び降りたがバランスを崩し、コンクリート地面で右足かかとを強打し骨折した。

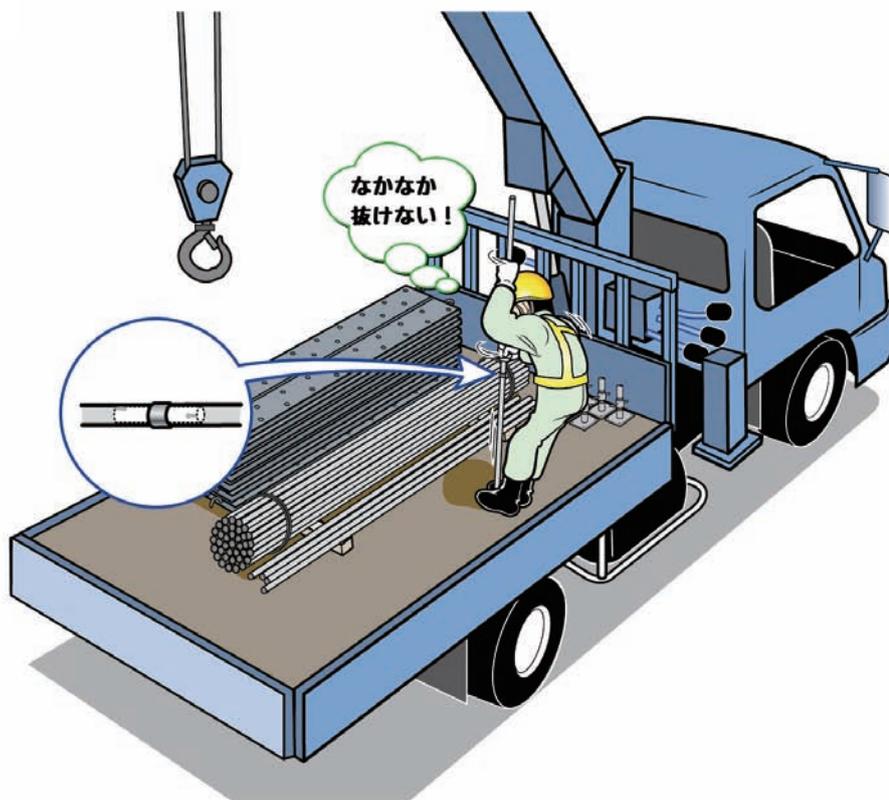
### (安全対策の例)

貨物自動車の荷台への昇降は、昇降設備を使用すること。

## 負傷災害 NO.18-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？

どんな安全対策が考えられますか？

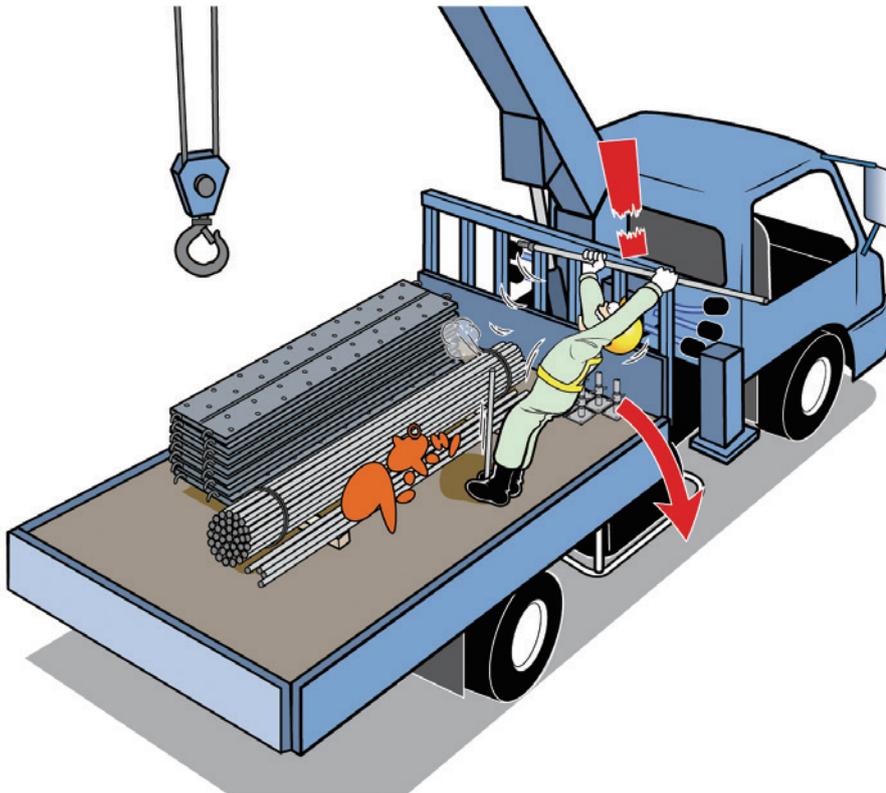


### (作業の状況)

資材置場で配置替えのため積み込みの作業をしているときに、単管パイプに付いている単管ジョイントを抜こうとしています。

## 負傷災害 NO.18-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材置場で配置替えのために積み込みの作業をしている時に、単管パイプに付いていた単管ジョイントを抜こうとしたが硬く嵌<sup>はま</sup>っていたために抜けず、力を込めて無理やりに抜こうとしたら、勢いよく抜けてしまい、その拍子に積載形トラッククレーンの荷台から転落してしまい、腰を打ちつけて骨を折ってしまった。

### (安全対策の例)

- 1 単管ジョイントを引き抜く作業は地上で行うこと。
- 2 動作の反動を意識した作業方法を選択すること。

## 負傷災害 NO.19-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

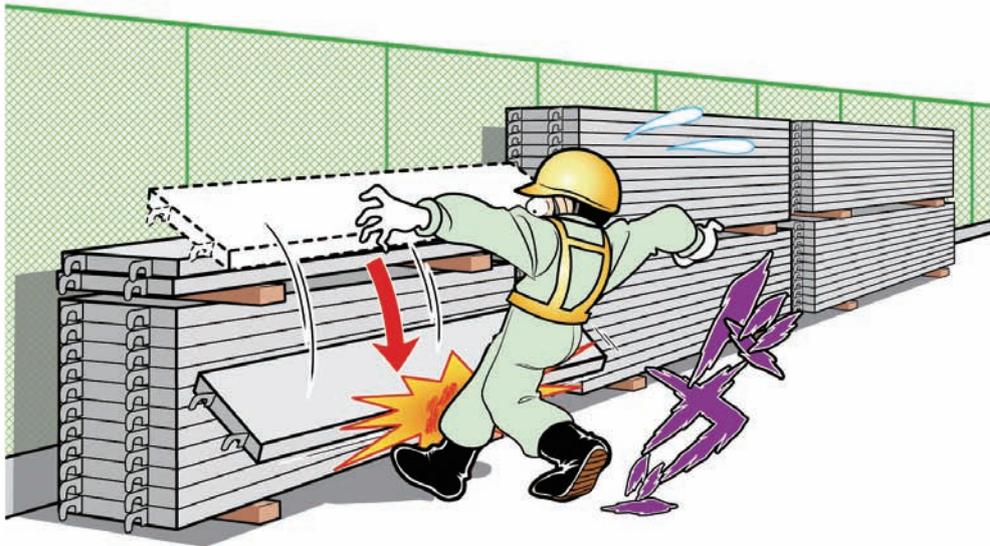


### (作業の状況)

資材置場で資材の荷卸し作業を行っています。

## 負傷災害 NO.19-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

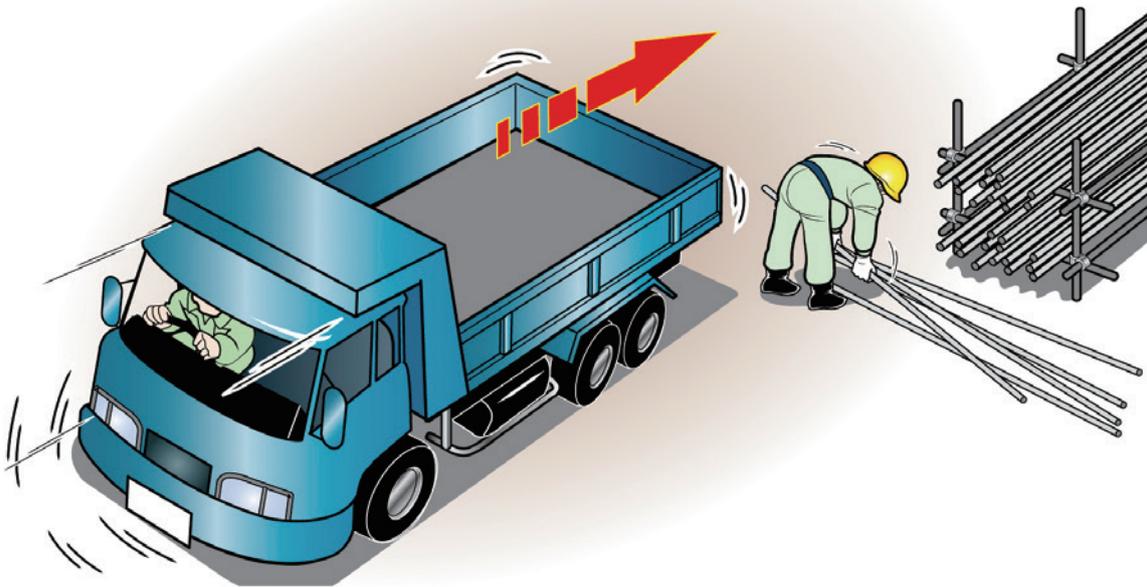
資材置場で資材の荷卸し作業中、誤って床付き布わくを右足すねに落下させた。その時は大した事はないと思い作業を続けたが、次第に腫れと痛みがひどくなったので自宅近くの病院で診察を受け打撲と診断された。レントゲンの結果、骨に異常はなかった。

### (安全対策の例)

- 1 作業手順等を確立する必要があること。
- 2 安全衛生教育を実施すること。

## 負傷災害 NO.20-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？



### (作業の状況)

資材置場において資材の片付けをしています。

## 負傷災害 NO.20-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

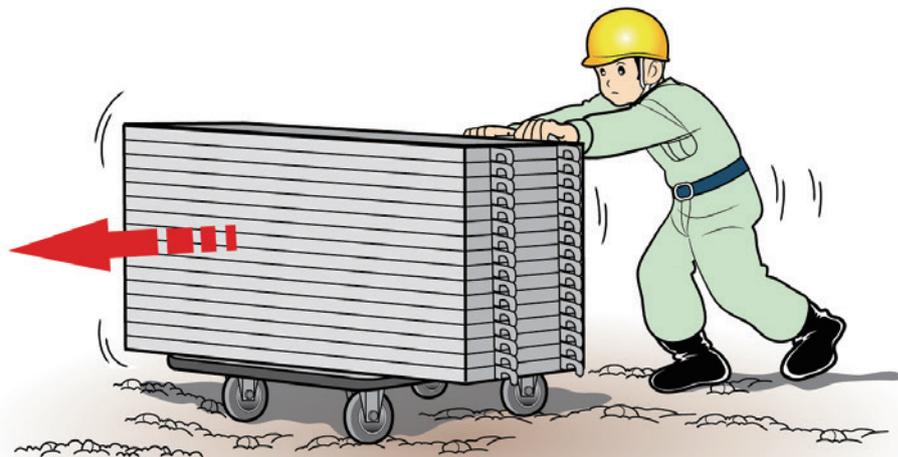
資材置場において資材の片付けをしているとき、A社長運転する2 t ダンプがバックしてくるのに気付かず、左足を轆かれてしまった。

### (安全対策の例)

- 1 運転手は、バック走行時には、後方（進行方向）確認を徹底すること。
- 2 必要により誘導者を付けること。
- 3 作業エリア、車両通行エリア、安全通路等を確保すること。

## 負傷災害 NO.21-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

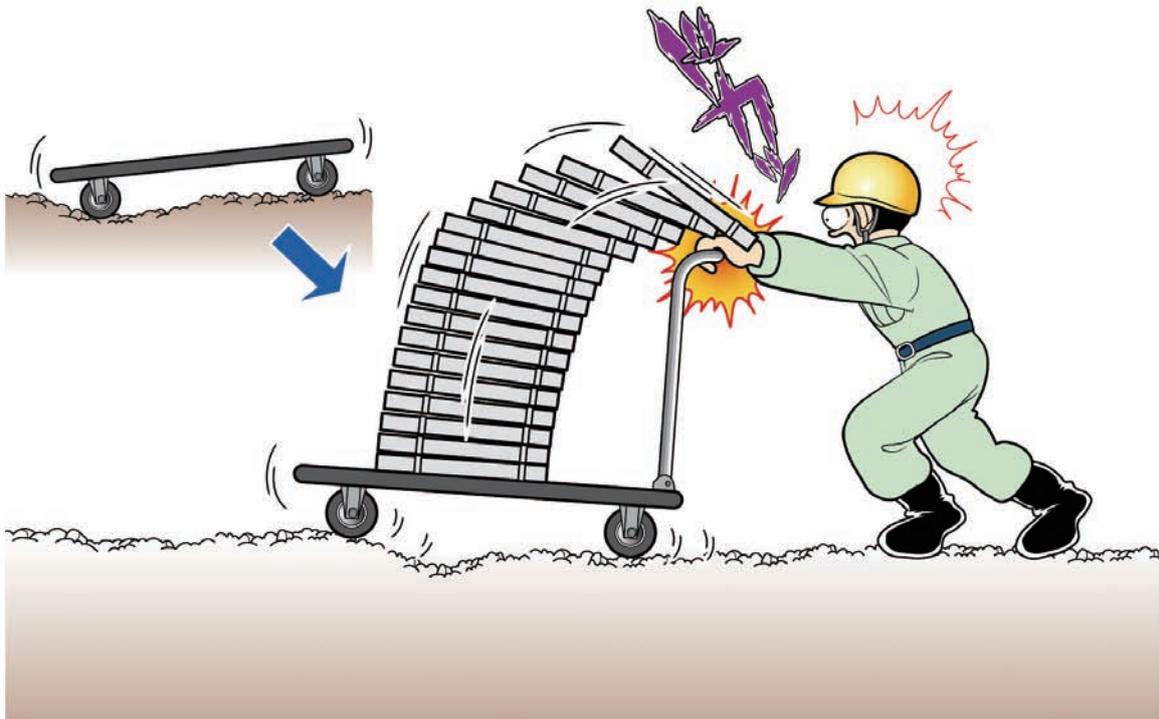


### (作業の状況)

資材置場で、台車に足場材を載せて運搬しています。

## 負傷災害 NO.21-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

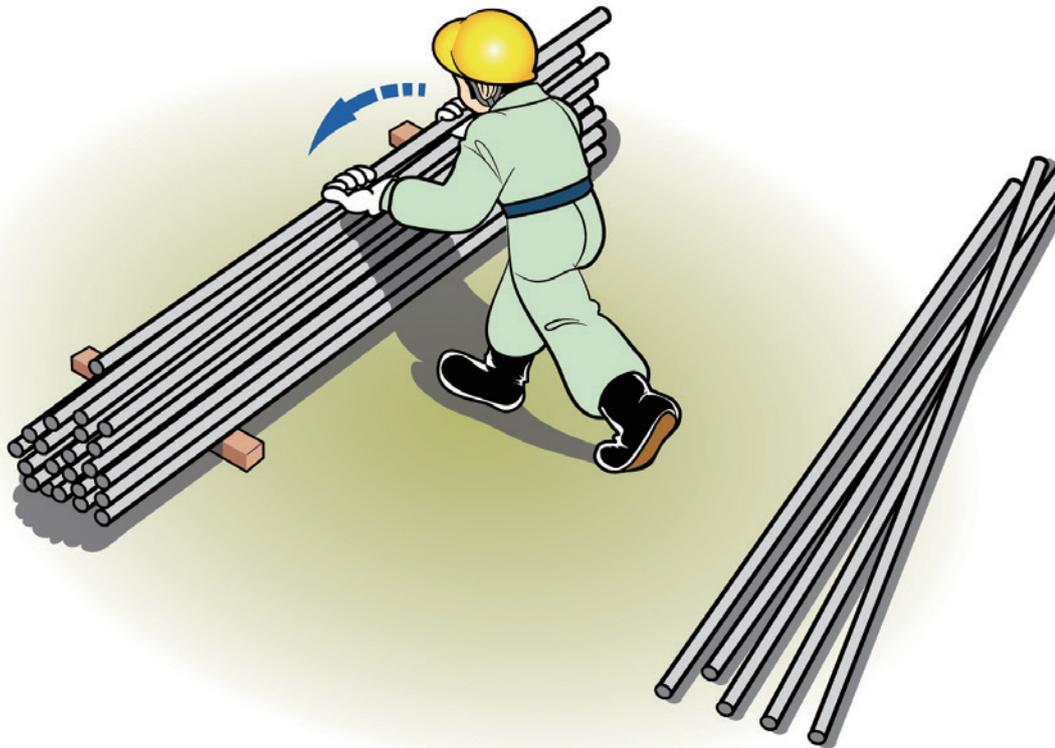
資材置場で、台車に足場材を載せて運搬中、地面の凹凸を通った際に荷が崩れ、台車を押していた左手の小指上に足場材が落ちてきたもの。

### (安全対策の例)

- 1 機材センターを平らに舗装すること。
- 2 台車の使用に関する安全教育を行うこと。

## 負傷災害 NO.22-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？



### (作業の状況)

資材置場で資材の片付け作業を行っています。

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材置場にて、材料を片付け中、積んであった単管パイプ（長さ 3 m、重さ 21kg）が崩れてきてしまい、その際、右足指等に当たり負傷したもの。

### (安全対策の例)

- 1 資材の保管格納基準を定め、それに基づいて行うこと。
- 2 はい作業は正しく行うこと。
- 3 現場から戻って来た、しがかり品の機材の仮置方法についても作業手順等を定めること。

## 負傷災害 NO.23-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

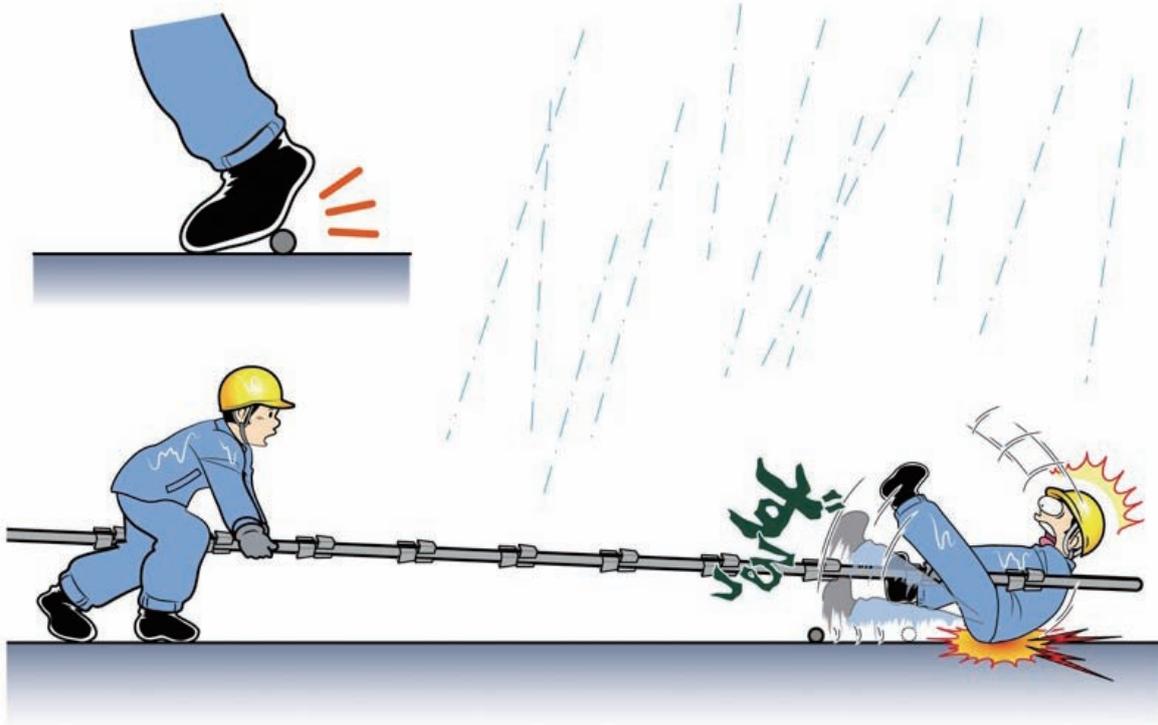


### (作業の状況)

資材置場にて支柱（3.8 m）の整理中（雨が降っていたため合羽かっぱを着て作業）2人で支柱を両手で持ち後方へ移動しています。

## 負傷災害 NO.23-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

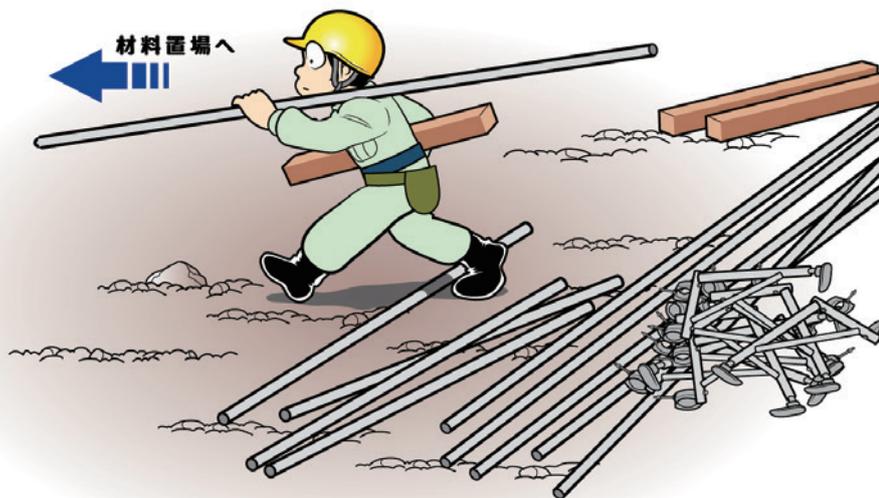
資材置場にて支柱（3.8 m）の整理中（雨が降っていたため合羽<sup>かっぱ</sup>を着て作業）2人にて支柱を両手で持ち後方へ移動中、手すりのパイプが転がっていたのに気付かずパイプを踏んでしまい、その時バランスをくずし、後向きに尻から落ちた際、腰を痛めた。

### (安全対策の例)

機材センターの整理整頓を行うこと。

## 負傷災害 NO.24-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？



### (作業の状況)

資材置場において、材料（単管パイプ、角材等）を片付け中に材料置場に行こうとしています。

## 負傷災害 NO.24-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

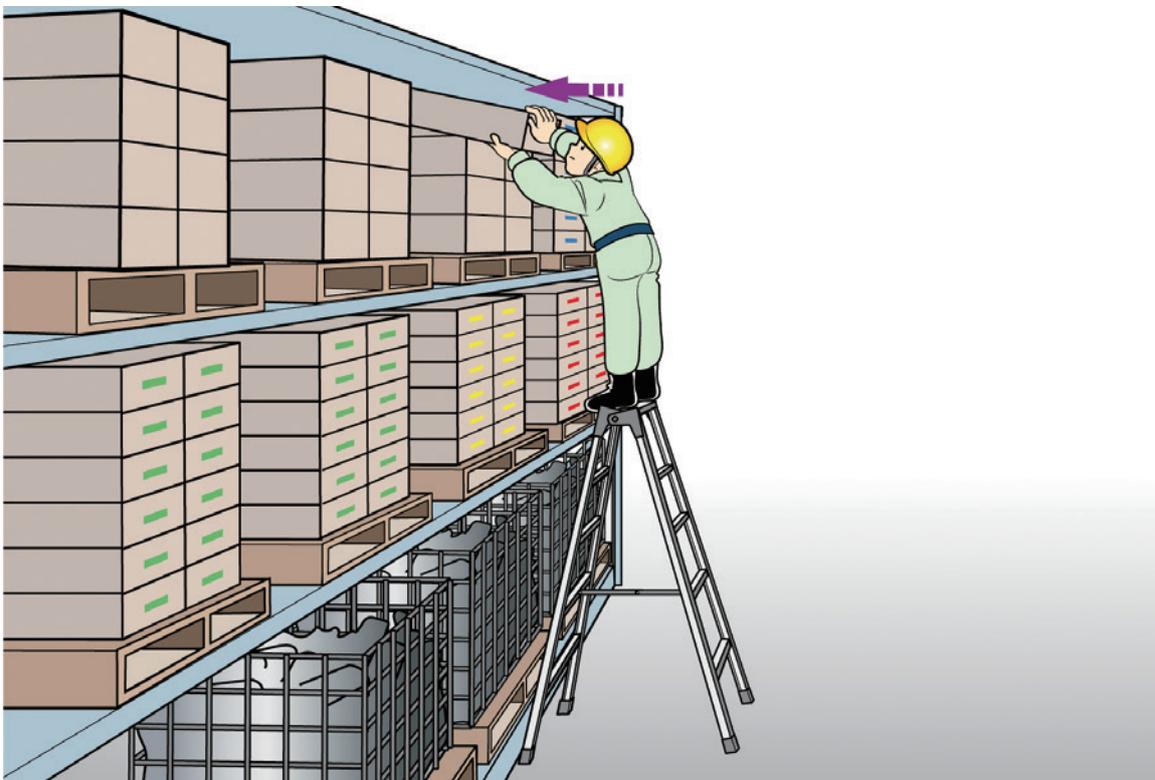
資材置場において、材料（単管パイプ、角材等）を片付け中に材料置場に行こうとした際に、材料（単管パイプ）に足を引っ掛けて転倒した。転倒した際に右脇腹の下に石があり、右脇腹を負傷した。

### (安全対策の例)

- 1 機材センターを平らに舗装すること。
- 2 機材センターの整理整頓を行うこと。
- 3 安全通路を設けること。

## 負傷災害 NO.25-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

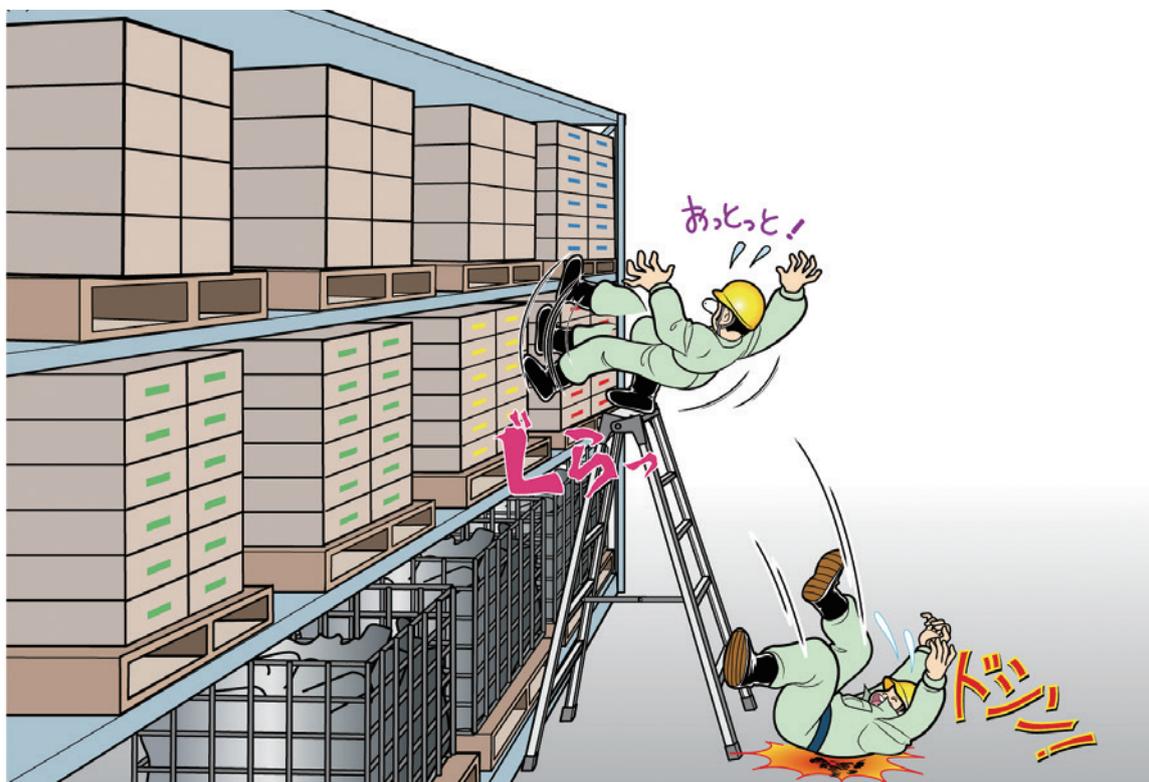


### (作業の状況)

資材置場で資材の整理をするため、脚立に上って資材を上げています。

## 負傷災害 NO.25-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材置場で、資材の整理中、脚立に上って棚の上に資材を上げていた時、足を滑らし体勢がくずれ、脚立から地面に転落してしまった。

### (安全対策の例)

- 1 常に行う作業の場合は、脚立を使用しないこと。
- 2 やむを得ず脚立を使用する場合は、安全衛生教育を実施すること。

## 負傷災害 NO.26-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？

どんな安全対策が考えられますか？

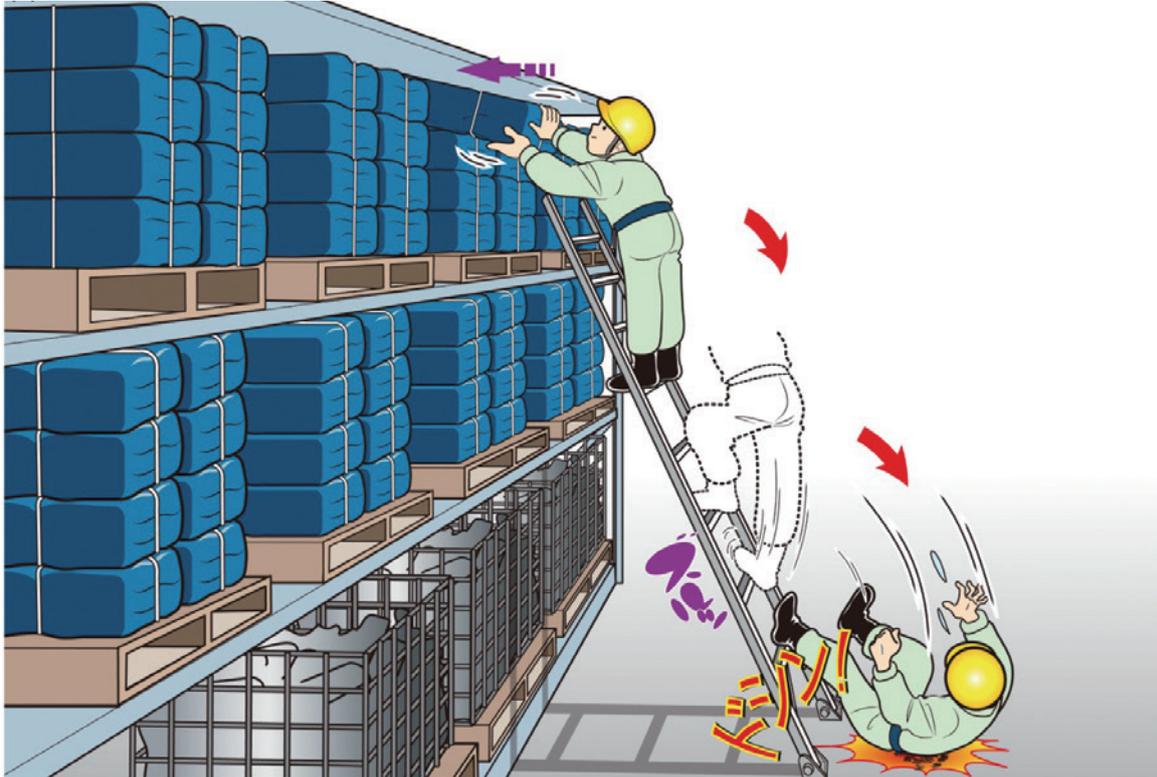


### (作業の状況)

資材置場において、棚上にある材料を積み込み後、梯子にて下りようとしています。

## 負傷災害 NO.26-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材置場において、棚上にある材料を積み込み後、梯子にて下りる際に足を滑らせ転落した。

### (安全対策の例)

- 1 常に行う作業の場合は、梯子を使用しないこと。
- 2 梯子は、上部及び脚部を固定すること。また、2人1組みで作業を行うこと。
- 3 梯子の使用に関する安全衛生教育を実施すること。
- 4 作業場所等に合わせた耐滑性、屈曲性のある安全靴を使用させること。

## 負傷災害 NO.27-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？

どんな安全対策が考えられますか？



### (作業の状況)

機材センター 1 階のトイレ内をサンダル履で清掃しています。

## 負傷災害 NO.27-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

機材センター1階のトイレ内をサンダル履で清掃中、後ずさりした際に高さ25cmの段差から転落した時、右膝<sup>ひざ</sup>をタイルの角に強打して負傷してしまった。

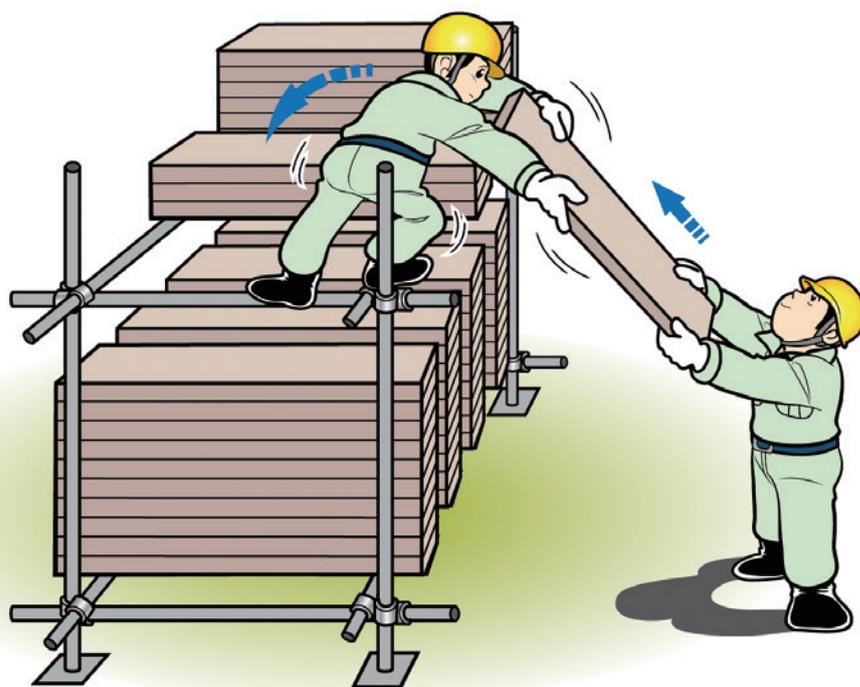
### (安全対策の例)

- 1 安全衛生教育を実施すること。
- 2 作業に適した装備とすること。

## 負傷災害 NO.28-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？

どんな安全対策が考えられますか？

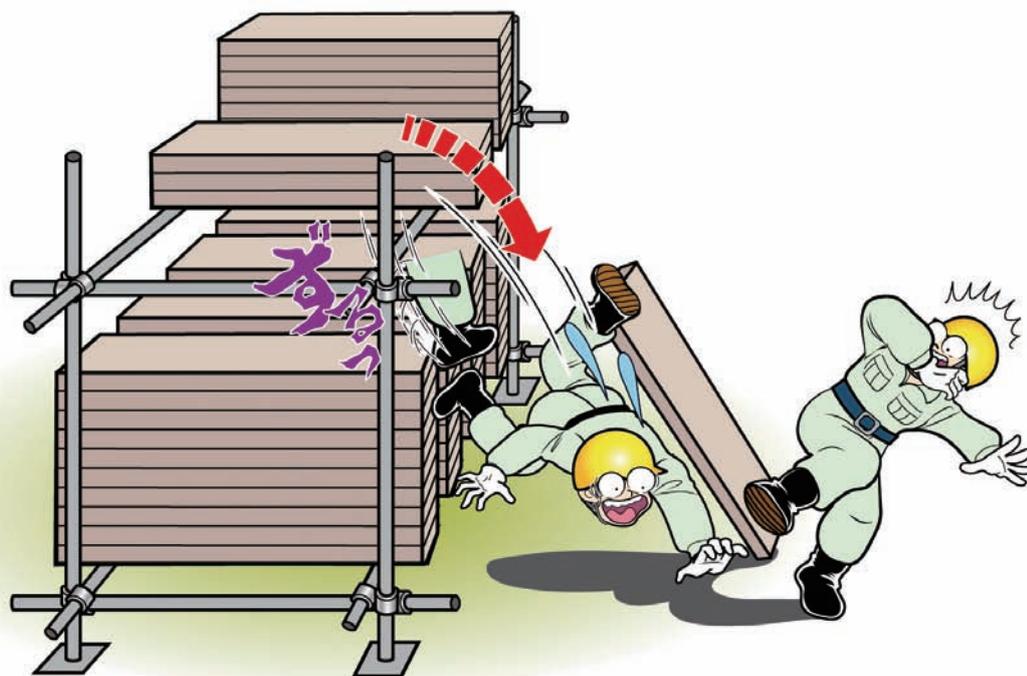


### (作業の状況)

資材置場で、足場で作った棚の上に木板を整頓し、片付けています。

## 負傷災害 NO.28-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

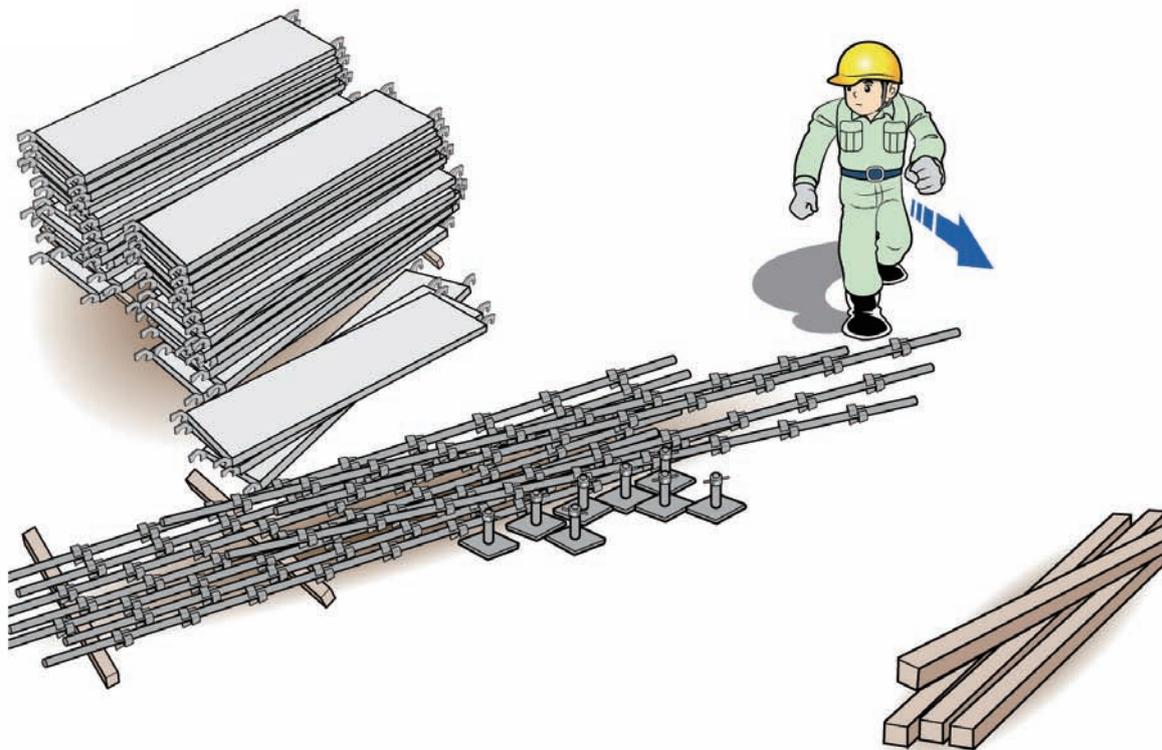
資材置場で足場で作った棚の上に木板を整頓し、片付けていたときに下の作業員から木板を受け取る際、足を滑らせて顔から地面に転落した。

### (安全対策の例)

作業手順を確立すること。

## 負傷災害 NO.29-1

この状況で、どんな災害が予想されますか？  
どんな安全対策が考えられますか？

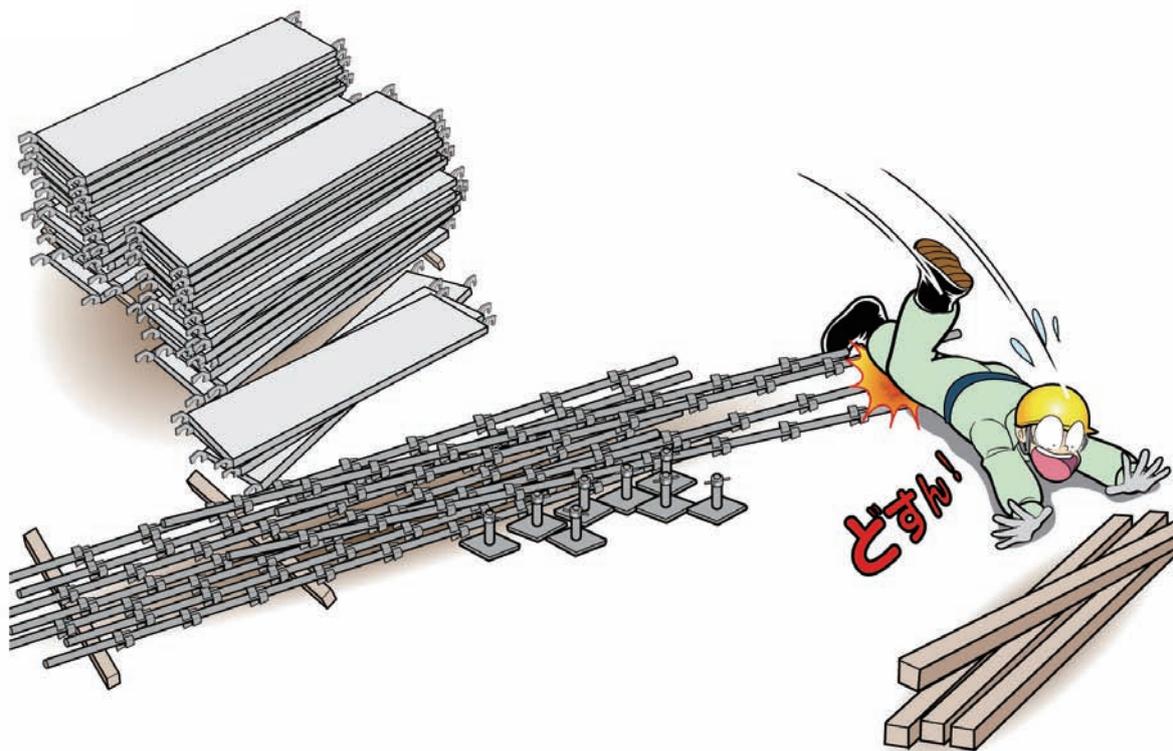


### (作業の状況)

資材置場において、歩いています。

## 負傷災害 NO.29-2

このような災害が発生しました。



### (災害の概要)

資材置場において、徒歩中につまずき転倒し、左脛骨<sup>けいこつ</sup>下端を骨折した。

### (安全対策の例)

機材センターの整理整頓を行うこと。

## 平成 23 年における機材センターに関係すると考えられる負傷災害事例

### 1 整備・修理・整理等作業に関する事例

NO	負傷災害発生状況(平成23年)
1	資材センター内において地上より約 3 mの上にある単管置場に各現場より返ってきた単管等を片付け整理していた。単管（長さ 2.5 m、外径 48.6 φ、重さ 6.83kg）2 本を上作業員に手渡した際に上の作業員がバランスをくずして単管から手を滑らせて 1 本だけ本人の鼻のところへ落下して骨折した。
2	資材置場で資材の片付けをしていた。電動丸ノコで木材を切断していたが、丸ノコがはねてしまい、手を放してしまった。そこに、はねた丸ノコが降ってきて、動いている刃が右手親指に当たり、裂傷を負った。
3	事業場内の資材置場にて、くさび緊結式足場の支柱 3.6 mを資材整理していたところ、1.2 m位積み重ねてあった支柱が 1 本倒れて、支柱 3.6 mに付いている緊結部が右手の薬指に当たり骨折した。
4	資材置場で整理作業中、支柱の荷崩れで指を挟んでしまい、負傷した。
5	資材置場にて角パイプ整理中、荷崩れが発生し、右手親指付け根に角パイプが当たりケガをした。
6	資材置場における資材の整理片付け作業で、左手に脚立を持ち移動している際につまずき転倒。転倒した際に脚立と地面に指を挟まれ被災した。
7	資材置場で単管を設置するため、1 人で作業中に足元が不安定だった資材パイプなどの上で足を滑らし転倒して、間切のための丁張杭に股間を打撲した。
8	資材置場にて片付けをしていた時、床付き布わくの積んであるところを掃除していた時に誤って落下させてしまい足に落とし負傷した。
9	資材置場にて管材等資材を整理している際に、単管パイプが棚から崩れ落ちてきて、右足を挟んでしまいひざを負傷した。
10	資材置場で足場材料を片付け中、足場材料を積み重ねようとした時、材料と材料の間に右手小指を挟み骨折した。
11	会社の資材置場で材料片付けをしている時に棚の上に置いてあった資材が落下してきて頭に当たった。
12	資材置場において型枠資材（一発サポート）をケレン、油塗りを完了後、地盤面より H = 2.0 mの高さの棚に上げて、その棚の上に上がってもう一段上の棚に収納中、バランスを崩して飛び降りて踵を骨折した。
13	資材置場において、足場解体用の 4 mの単管パイプを持ち上げた際、単管パイプの上方に付いていたクランプが左手の甲に落下し、負傷してしまった。
14	資材置場で整理をしていた際、立て掛けてあった足場部材につまずき、部材が倒れ身体に当たった。
15	資材置場で、足場の上で資材の運搬作業をしている際、バランスをくずし、地面に転落し、両足かかとを負傷した。

16	会社の資材置場にて、敷鉄板の整備(洗浄)作業で、敷鉄板を枕材の上に重ねる作業中、鉄板の振れ防止の補助作業を行っていた。指揮者が補助作業者の退避を十分に確認せず、また、被災者も退避の目測を誤っていた状態で鉄板を枕材の上に倒した。そのため、補助作業をしていた被災者の右足甲が挟まれて被災した。
17	資材置場にて、資材の仕分け片付中、整理棚より荷崩れし単管パイプ 2 mが落下したため、右足を強打し被災した。
18	会社の足場資材置場で、資材の整備等で移動させる作業中、腰を下ろしたり中腰の姿勢が多かったため、重たい物を持ち上げたところ、腰を痛めた。
19	自社の資材置場にて、片付け作業中に、足を捻り骨折した。
20	資材置場で資材を運搬しようと仮設材(床付き布わく 2 枚)を肩に担ごうとしている時に担いだ資材が肩から滑り落ちそうになり左手で資材を支え、体勢を立て直そうとしたが、バランスを崩しそのまま左肩から地面に倒れた。
21	資材置場において、足場材のサビ落とし作業中、バケツにつまづき、中のシンナーがこぼれ足にかかり作業靴が濡れたが放置していた。翌日になりみずぶくれになったので、自分で薬をぬって就労していたが、次第に症状が悪化し、受診、休業となった。
22	事務所の敷地内、資材置場で片付けをしていたところ、棚の土台になっているブラケットのクランプが飛び出ており、立ち上がった時に、後頭部を打ち負傷した。
23	会社資材置場において、資材を運ぶため単管パイプを片付けていたところ、左ひざをねじる形となり激痛を覚えた。全く痛みが止まらないことから翌日病院へ行った。
24	資材置場において、単管パイプ(48mm φ × 500mm、重さ約 5kg)を片付け作業中、手が滑ってパイプの端部とパイプの間に手を挟んでしまい負傷した。当日は、我慢したが、痛みと腫れがひどくなり翌日病院に行った。
25	資材置場における整理整頓作業中、立てかけてあった足場用の支柱が倒れ、頭部(左耳の後ろ)に当たり、負傷した。
26	資材置場で、支柱を整備していた。支柱を番線で束ねている時、落ちそうになった 1 本を受け止めようとして、支柱の緊結部(出っ張っている部分)が薬指にひかかり骨折した。
27	資材置場で片付中、鋼材を落下させてしまい(重量 100kg位)安全靴を履いていたが、右足の甲の部分に鋼材と地面に挟んでしまい、怪我をしてしまった。
28	機材センターにおいて、片付け整理作業中、フォークリフトの爪の上の長さ 4.5m(足場用)単管パイプ 100 本束が多少斜めにずれていたため、真っ直ぐにしようとして手前に引っ張ったところ、単管パイプ 100 本束がフォークリフトの爪から滑り落ち、引っ張った本人の左足(安全靴)の上に落下したため、左足を負傷した。
29	資材置場にて、片付け清掃中、資材を積み上げた際、資材を左足に落とし、左足小指を骨折した。
30	資材置場で、置場の囲いを作るための鉄板をサンダーで切っていた際、サンダーの刃が折れて左顔面にその刃が当たり負傷した。
31	資材置場において、運搬用トラックに積載されていた仮設足場の資材を置場棚に整理卸し作業中、整理中の一部仮設足場資材(単管パイプ:φ 48 × L 4,000、重さ 10kg)をトラック側の地面空き地に仮置きしていた。移動のため仮置きしていた単管パイプをまたごうとして、誤って単管パイプの先端部を踏んでしまい左足小指を負傷した。

32	被災者は、資材置場において、資材の片付け作業中、壁面の棚に資材を上げようと脚立に上ったところ、誤って体のバランスを崩し、そのはずみで地面に転落（約1m下）した際、右足首及び右大腿部付近を地面に強く打ち骨折負傷した。
33	資材置場において、資材等の片付けをしている際、単管パイプの量が少し多かったが自力で持てると思い、素手で持ち上げようとしてバランスを崩し、当該資材に右手を挟み負傷した。
34	自社資材置場で片付けの際、足場材で棚を作っている時に足元を踏み外し安全帯で逆さまに引っかかりクランプの爪で左足2ヶ所を切った。
35	現場が終わったため資材置場で足場材を整理している際、積み重ねた材料の上で作業中、誤って足を踏み外してしまい、右の膝を打撲した。
36	資材置場で単管パイプの片付け作業をしていた。パイプが濡れ滑りやすくなっていたため、注意を払って作業をしていたが、バランスを崩し滑って頭部から転落。とっさの判断で両手を出して体をかばったが右足がパイプの間に挟まり宙づり状態になり右膝を負傷した。
37	資材置場において、敷地内の単管パイプの整理中にフォークリフトで吊って移動してきた単管パイプ（長さ4m）を卸そうとした際、誤って単管パイプの端に添えていた右手を地面に置いてあった単管パイプで挟み右手甲を負傷した。
38	資材倉庫内において、倉庫内の資材整理中に、枠組足場W1200がW900の上に2本載っていたため、サイズ別に整理しようとした際、1本に手を掛けたところ、2本とも落下し、左足の甲指に当たり負傷した。（高さ150～160cm）（長靴着用・安全靴未着用）

## 2 入出庫作業に関する事例

NO	負傷災害発生状況(平成23年)
1	資材センターで、トラック（3t）の積荷の資材を卸そうと作業をしていた際、足が材料に引っかかり転倒してしまい、荷台の上に左手からついたため、左手首を骨折した。
2	資材置場において、トラックの荷卸しの際、単管パイプを取り損ない、荷台と単管パイプの間に右手小指が負傷した。
3	資材置場にて3tトラックの荷台から（高さ約1m）後ろ向きに転落し、腰と後頭部を強打した。
4	被災者は、資材置場において、トラックの荷物（仮設資材）の積み替え作業中、トラックの荷台（高さ1m）から滑って転落し、その際、地面に右手をつき強打し、右橈骨遠位端を骨折した。
5	駐車場の仮設資材置場において、資材を11t移動式クレーンを使ってトラックに積み込み、回収する作業をしていた。交さ筋かいの束（鉄製の足場材約200本長さ約122cm、総重量約800kg）に2本のワイヤーをかけ、移動式クレーンで吊り上げようとしたところ、何かが引っ掛かりうまく吊り上らなかった。そこで、被災者が状況を確認しようと交さ筋かいの右側に行ったところ、交さ筋かいの束の左右のバランスが悪かったため、突然、交さ筋かいの束が左側に崩れ落ち、その拍子でワイヤーが被災者側にずれ、ワイヤーに接していた下部数本の交さ筋かいがワイヤーに引っ掛かり、被災者側に交さ筋かいの先端が飛び出してきた。左目に当たってしまった。当日は、すぐに、現場にいた取引先の従業員の乗用車で病院へ搬送した。

6	資材置場において、4 トントラックの荷台資材を片付け終え、トラック備え付けの梯子（ステップ）にて下りる際、足を滑らせたため、飛び降りたところ、両かかとを地面に強打して負傷した。
7	資材置場にて、トラック（4 t）荷台から角材（枕木）を卸す作業中、トラック下で角材を受けていたが手を滑らせ、落下。左足の甲に当てた。
8	資材置場において、トラックから足場パイプを卸すのを下で受け取っていたところ、単管パイプを持った手を滑らせ、単管パイプが落下し、右足の中指と小指の付け根に当たり負傷した。
9	資材置場にて、工事車輛の荷台から資材を手で持ち、卸す時に誤って手を滑らせて自分の足の上に落下させてしまった。
10	資材置場にて、足場材をトラックの荷台より卸す作業をしていた。トラックの荷台より降りた際、下に置いてあった足場材に右足が着地し、身体のバランスを崩し、右足首をひねり負傷した。
11	資材置場において、横荷の足場板の搬出作業中に誤ってワイヤーロープにつまづいてトラック荷台から地面に転落して負傷した。
12	仮設足場材の運搬のため、資材置場で作業していた。資材をトラックの荷台から荷卸ししていた際、荷台から地面に飛び降りようとしたところ、着地の仕方が悪くかかとより降りてしまい、右足かかとを骨折・負傷した。
13	資材置場で、建築資材をトラックの荷台に積み終わった後、トラックの荷台のあおりを戻す際、あおり止め掛金のハンドルフックに右手を挟み、右手環指を挫創、負傷した。
14	資材置場で単管パイプをダンプに積み込む作業をしていた際、単管パイプを持ち上げた瞬間、腰に激痛が起きた。
15	資材置場で片付中、小運搬中の資材の荷卸し中に、2 tトラックの荷台のあおりの上部に足を掛けて飛び降りた際、着地後激痛があった。
16	資材置場で作業員2名（被災者含む）が単管パイプを4 tトラックに積み込み中に被災者がトラックの荷台に上がって下から渡された単管パイプを受け取った時にバランスを崩して倒れかかり、トラックのあおり上部の角との間に左手薬指が挟まり骨折した。
17	資材置場で材料の荷卸し中、トラックに立て掛けていた足場材を使って下りている時に滑って右足を捻った。
18	資材置場にて商品を荷卸しするため、トラックの座席から降りようとしたところ、着地場所に資材の単管パイプが置いてあり、誤って単管パイプを踏んでしまい、右足首を捻って負傷した。
19	資材置場にてトラックの資材を荷卸ししていたところ（長さ3.6 m、重さ35kg）前方で荷卸しをしていた1名が着地の際にバランスをくずし、後方で資材を支えていた1名が支えきれず手を離してしまい、足の甲に資材を落としてしまった。前方の作業員も足をくじき病院へ行った。
20	資材置場から現場に足場材を運ぶためにトラックに積み込み作業をしている時に誤って、足場材を足に落としてしまった。

21	工事現場で使用した資材（鋼板）を当社資材置場で荷卸し作業中、地面に鋼板を卸した際に鋼板がはね返り、足の甲に接触し負傷した。
22	資材置場で、積込み作業中、約 1.5 m の高さにある単管パイプを玉掛けし、4 t 移動式クレーンにて吊り上げた際、足を滑らせ、上腕部より転落。転落時、手をつき受傷した。
23	資材置場でトラックへの資材積込み時に、資材をしっかりと固定するため、トラックのロープを引っ張り強く反動をつけたところ、ロープが手から離れ、尻もちをつき臀部を強打した。
24	資材置場にて片付けをしていた。トラックの荷台に上り、あおりに足をかけた際に滑り、転落した所にバタ角があり、左後方脇腹を強打した。トラックは 4 t 車、安全靴とヘルメットは着用していた。
25	資材置場にて、各現場の資材の片付け作業中、持っていた資材を積み込む際、誤って資材で左手の親指を挟み負傷した。なお、資材置場には、常駐する従業員はいなかった。
26	資材置場にて、トラックの荷台から単管足場を卸す作業中、単管パイプにつまずき荷台から落下し転倒した。その際、荷台から落ちてきた単管パイプが胸に当たり、負傷した。
27	資材置場にて 4 t 車から足場資材を荷卸し中に荷台から足を滑らし転落した際に左わき腹に足場資材を強打し、肋骨を骨折した。
28	資材置場にて、単管パイプ（長さ 1 m）約 100 本の束（約 270kg）を荷吊り作業中、単管パイプのバランスが悪く、足元に滑り落ちそうになったため、とっさに左手指を単管パイプに端部に差し込んで支えようとした際、単管パイプの重さにより上腕部筋肉を伸ばした。
29	資材置場で、トラックに積んである資材（足場板）を卸す作業中に、下で受け止めていた際、バランスをくずし、足場板が傾いてしまった。これを支えようとして、指に力を入れたが、重みに耐えられず両手親指の付け根を捻挫した。
30	資材置場にて、4 t 移動式クレーンを使用して敷鉄板（1.5 × 3.0 m）をトラックより卸す作業を行っていた際、敷鉄板が滑り荷台より落下し、右足（親指）を直撃負傷した。
31	工事現場からの機材等を機材置場にて片付け中にダンプから降りる際に着地時にバランスを崩して右足首を負傷した。

### 3 雨・雪・風等に関する事例

NO	負傷災害発生状況(平成23年)
1	被災者が同僚と、倉庫屋外の資材置場で、部材を片付ける作業をしていた。積み重なった部材が凍って手で離すことができなかつたため、ハンマーを使って部材を離す作業をした際、部材を押さえていた親指を、同僚が誤ってハンマーで叩いてしまい、左手親指を負傷した。
2	資材置場にて、除雪作業中に足を滑らせ転びそうになったため、左手で近くの木の枝を掴んだところ、そのまま滑り落ち、左腕が伸びきり左上腕（肩付近）が骨折した。
3	資材置場において、外壁改修足場工事に使用する足場材を移動式クレーンに荷積み中、下にあったバタ角材が雪で見えずその上に上がった際、足を滑らせ転倒し負傷した。
4	研究所実験施設足場工事の現場から、資材置場に不足した材料を取りに戻った際、トラックのドアが強風で開いてしまい、飛び降りた時に左足を捻って地面についたため負傷した。
5	資材置場にて、資材の整理作業中において、冬場で地面が凍結しており、足元をとらえバランスを崩し転倒し、頭部を強打してしまった。
6	資材置場において、構内整備作業として、4 t ダンプトラック車上で荷物整理中、トラックから地面に降りようと荷台あおり上部に手を掛けたが、あおりの表面が凍っていたために手が滑り、バランスを崩し、着地した。その際、機材の角材に足が乗り、負傷した。
7	資材置場において倉庫整理のためトラックに何日も積んであった資材を卸す作業中、荷張りを外していたところ霜で足を滑らせ体のバランスを保とうとしてトラックに積載されていた資材をつかんだが、資材と共に荷台より転落し、頭部を強打し負傷した。
8	資材置場にて資材の後片付けと整理をしていたところ、トラックの荷台に雪があり滑って落ちて右手首を骨折した。
9	資材置場で片付け作業中に雪で滑って転倒。その際に手を着き左肩を負傷した。
10	事務所兼資材置場にて、車止めのブロック（12cm角、横30cm、重量15kg）を移動させようとして持った時にブロックが凍っていて、滑ってしまい落ちそうになったのを持ち直した際に、ブロックと地面のコンクリートとの間に手を挟んでしまい、右中指を負傷した。再発防止策は、冬季に車止めのブロックを持つ際は、ブロックが凍結していないかを確認したうえで、凍結していた際は、氷をしっかりと落としてから、ゆっくりと持ち、滑らないように気をつけることを周知徹底した。
11	資材置場整備の休憩時間、ヘルメットを取り、足場材近くに座った際、足場材の上に置いてあった浅木が風で落下し、左頭部に当たりケガをした。
12	取引先の資材置場に、被災者Aは移動式クレーンにて建設資材（足場関係資材）を運搬してきた。この資材を同営業所従業員、B氏はフォークリフトを操作して荷卸し中、被災者Aは同トラック荷台上でフォークリフトの爪の入り具合や荷姿状態に留意していたところ、足元が雨で濡れていたため、足が滑り転落（1.5 m）転倒した。これにより左足首をひねり捻挫、右肩、首根後部を打ち負傷した。
13	資材置場において、積込み作業中、雨が降っており、高さ30cm位のところより足を滑らせ、バタ木に当たって、右足を負傷した。
14	資材置場内でトラックの荷台で作業中、雨が降っており、足を滑らせ転んだ。

#### 4 その他の作業に関する事例

NO	負傷災害発生状況(平成23年)
1	資材センターにて、単管パイプ整理作業を行っていた。その単管パイプを束ねるための帯鉄を取りに行った際、その帯鉄（約 50kg）を右肩にかついで下に降ろそうとしたところ、重さに絶えることができず、体ごと床に倒れた。その時に肘が帯鉄の下になり、負傷した。
2	資材センターの代納場で新しいヘルメットの配給を受け、ヘルメットの前面に社章を貼り付ける目的で、右手にヘルメット、左手に社章を持って歩行中、床面に置いてあったパレットの隅部でつまずき転倒した。その際、左膝を強打し受傷した。
3	資材置場に設置してある天上クレーンで足場材（枠）梱包を吊り上げ移動中、横に積んであった足場に当たり、梱包の紐が切れ、落下して来た足場が右足甲の横に当たり骨折した。背中が痛いので診療の結果、肋骨右側 10 番骨折、右肩甲骨不全骨折が見つかった。
4	資材置場の駐車場において、4 トントラックが他の車を駐車させるのに邪魔な位置に駐車してあったため移動させ、トラックから降りようとした際に運転席のステップが濡れていて足を踏み外し負傷した。
5	現場が終わったため資材置場で足場材を整理している際、積み重ねた材料の上で作業中、誤って足を踏み外してしまい、右の膝を打撲した。
6	資材置場で脚立に上ろうとした際、足を踏み外し転落し、右足小指を骨折した。
7	資材置場で踏み台を利用した際、バランスを崩し、靴が滑り転倒した。
8	資材置場で、トラックの荷台の清掃中に、荷台の上で後ろ向きに清掃していたところ、足を滑らせ尻から転落して、骨盤を骨折した。
9	資材置場において、建築資材を 4 トンダンプで運搬中、急勾配の坂道を登りきれず、ダンプが後退し始めたため、ブレーキをかけたが、タイヤがスリップして操作不能となり、高さ 3 m の路肩からダンプごと転覆し負傷した。
10	資材置場にて、約 1.2 m の資材の上から降りようとした際、番線（針金）が右足のズボンに引っ掛かり、左の手から地面に着地したところ、痛みと腫れを覚え骨折した。
11	資材置場にて脚立に上って棚の整理を行っていたところバランスを崩して脚立の上から飛び降りた。その際、踵に痛みがあった。翌日、痛みと腫れが大きくなったため病院を受診した。
12	資材倉庫内でフォークリフト運転手に頼まれて荷物が引っ掛けてある状態のままフォークリフトのフォークの幅を広げようと手動で調整しようとしたところ、フォーク右側の爪が右足のこうに落下し、右足小指が骨折した。
13	資材ヤードで、平台車に乗せてあった厚さ 4mm の鉄板 16 枚を返却のために、移動しようとしたところ平台車が倒れ、鉄板が左足首からすね下部付近に当たり、被災した。
14	資材置場からトラックに同乗して現場へ向かう途中、タイヤがスリップし、道路左側の擁壁に衝突し負傷した。
15	資材置場に資材を置くラックを解体中、上部に仮掛けしていた足場手すりがはずれて落下し、後頭部を直撃し、首を痛めた。

16	資材置場にて、足場材積み下げ作業中にトラックデッキ上で誤って足を滑らせ転落し（段差およそ 1.8 m）左腕を負傷した。
17	資材置場でつまづき、とっさに左手をついたところに、コンクリートの枠があり、左手の甲の骨にヒビが入った。
18	資材置場にて、地震で動いたパレット（基材 L = 1.040、W = 1.250、H = 110）を直そうとした際、左手に持ったパレットが折れて、下部のパレットとの間に左手の指が挟まれて負傷した。（パレット重量 15kg）
19	資材置場において、ローリングに単管パイプ（鉄製：長さ 4m・直径 5cm）を 100 本程を乗せ運搬中、なかなか動かないのでローリングに身を寄せ力を入れて押したとき、左足先がキャスターに挟まり左足先（小指）を受傷した。
20	資材置場にて材料を運んでいる際、足元にあった縁石につまづき、縁石の角で足のスネをぶつけ、けがをしてしまった。
21	営業所の資材置場において、13 t トラックの助手席から降りようとした時に、バランスを崩し、1m60cm程の高さから転落した際、片足（左足）で着地してしまい、左足首を骨折した。
22	資材置場において、足場（高さ約 1.8 m）を使用し、窓ガラスを清掃して、作業を終え足場から降りようとした際、滑って地面に落ちて受傷した。なお、作業中は安全ベルトを装着していたが、作業を終え、足場から降りる際にフックを外していた。また、足場は、清掃時使用していた液体洗剤が付着していたため、滑り易くなっていた。
23	資材置場に 4 t 車で到着し、降車しようとした際、ステップを踏みはずし、バランスを崩した状態で、下の地面に足を着いた。
24	資材置場内のコンテナ屋上部に荷上げをするため、梯子を使って上ろうとしていた際、梯子を四段目まで上ったところで足を滑らせ墜落し、転倒した。その際に右足踵をコンクリート面に捻りながら強打した。
25	資材置場で 2 t 車両の荷台の掃除をしている時、荷台の上の単管パイプが転がって来て右足に落下して右足親指を骨折した。
26	資材置場の 2 階屋根から資材を卸す作業中、梯子より転落した。（2m 位）
27	バックルームで、資材置場に行き、前に置いてあった台車をまたぎ、資材置場でサインをして帰ろうとした際、置いてあった台車のことを忘れてつまづき転倒。左ひじを骨折した。
28	機材置場の段差につまづき転倒し、左足を痛めた。翌日、痛みが引かないため医療機関にかかった。

## 平成 24 年における機材センターに関係すると考えられる負傷災害事例

### 1 入出庫作業に関する事例

NO	負傷災害発生状況(平成24年)
1	仮設資材の機材センター内にて、フォークリフトが作業中、バックした際、リフトの後を通り、リフトに接触し、転倒した際、両足をリフト後輪で踏み、骨折並びに裂傷した。
2	資材センター内で車両から資材を卸していたところ、車両が揺れた。荷を卸すため外したロープを、再度締め直して短い距離を移動したため車体が揺れ、荷台の型枠材が崩れ、歩いていた被災者に当たった。
3	資材センターヤード内にて、10 tトラック積載の三角状鉄製型枠を計 60 本位を荷卸しするため、荷締具を取り外す際、荷崩れし、型枠 1 本と共に高さ 2.2 mより落下し、股関節を骨折した。
4	資材倉庫にて、在庫資材の整理のため、単管パイプを 4 tトラックに積み込む作業中、トラックを動かそうと運転席に片足から乗ろうとしたところ、高さ 55cmのステップを踏み外し、地面に強く足をつき、腰を負傷した。
5	資材倉庫にて、倉庫の整理のため、ダンプに資材を積み込み中、ダンプのあおりが締めきらなかつたため、数回にわたり戻したり、締めたりしていたところ、手薬指が挟まれ、負傷した。
6	資材置場にて、トラックから荷卸し中、下にあった板に気付かず板を踏んだところ、板に釘が上向きに刺さっており足裏に釘が刺さり、負傷した。
7	資材置場にて、トラックから資材を卸し、資材を積み重ねる作業中、誤って手に資材を落とし、資材と資材の間に手を挟み骨折した。
8	資材置場にて、積載形トラッククレーンで資材を卸している際、積んであった資材が崩れ落ち、下敷きになった。
9	資材置場にて、型枠材料を積み込もうとした際、2 tダンプのあおりを下げたところ、あおりが足元に落下し、足を直撃した。
10	資材置場にて、単管パイプを 3 tトラックの荷台から卸そうと持ち上げた際、手を滑らせ、単管パイプが落下し、足親指に直撃し負傷した。

### 2 雨等に関する事例

NO	負傷災害発生状況(平成24年)
1	資材倉庫にて、ハケ等の消耗品を持って移動中、雨で床が濡れていたため、滑り、転倒。手をつき、手関節を捻挫し、中指を骨折した。
2	資材倉庫の後片付け中、足元に敷いてあったコンパネ（床板）に雨水がかかっていたため、誤って転倒。膝から地面に倒れ、膝がねじれ、負傷した。
3	資材置場のパイプ小屋を解体中、単管パイプ（長さ5 m）を取り外している際、雪で足を滑らせ、パイプが足の膝付近に落下し、負傷した。

### 3 その他の作業に関する事例

NO	負傷災害発生状況(平成24年)
1	機材センターにて、整備のためのロングステージ（縦 250mm ×横 2000 mm、重さ 6.8kg）約 20 枚に巻いてある留め具を切断しようとしたが、バランスが悪く重なっている事を確認せずに切断したため、本人側に倒れてきた。他のサイズのロングステージが並行して置いてあり、その間で作業をしていたため、ふくらはぎ部分が挟まれた。
2	機材センター事務所2階倉庫から下りる階段で、倉庫内へ養生材を運んでいた際、階段から足を踏み外して滑り落ち、足から無理な体勢で着地したため、足首を損傷した。
3	機材センターで機械（マルチドリル機）の点検作業の手元作業中、立ち馬のタラップ2段目（約 450 m）に立ち、機械上で点検作業を行っていた作業員に工具を手渡した後、そこから降りたところ、立ち馬がグラつき倒れ、その立ち馬上に落下し受傷した。
4	資材センターにて資材を置くスノコを設置する作業を行っていた際、使用していた釘打機のクギがワイヤー連結式であったため、ワイヤー破片が目に入った。
5	資材センターで積み込み作業中、材料をかついでトラックへ歩いていたところ、足元の材料にひっかかり、かついでいた材料が足に落ち、負傷をした。
6	仮設資材の保管整備中、仮設資材に気を取られ、足元をよく見ていなかったため、資材センター内の敷鉄骨（高さ 10cm）から足を踏み外し、足首を捻り、負傷した。
7	資材センター内にてトラックの荷台を清掃中、トラックの縁に立ちそこから降りようとした際、足が滑って地面に転落し、負傷した。（ヘルメット着用）
8	資材センターでトラッククレーン作業を終了し、エンジンキーを切った状態でトラッククレーンから降りようとした際、トラッククレーンが動いてそばにあったリフトと車のドアの間に挟まれた。
9	資材倉庫にて、4 段重ねた足場板の上の材料を確認するため、側面を上っていたところ、足を踏み外し、コンクリート上に足から転落し、負傷した。
10	資材倉庫にて、資材を準備中、パレット上から足を踏み外し、床に着地した際に、足小指を捻り負傷した。
11	資材倉庫にて、資材整理中、トラック荷台の清掃終了後、荷台から地面に飛び降りたところ、着地バランスが悪く、足を負傷した。
12	資材倉庫内にて、材料棚から鋼材を出す作業を同僚と行っていた際、意気が合わず、誤って鋼材と棚の間で親指を挟んだ。
13	資材倉庫にて、フォークリフトで資材の片付けを行っていた。資材を結束するため、フォークリフトの後に積んである結束用番線を取るため、フォークリフトを降り、後部に回ったところ、フォークリフトのサイドブレーキがあまかったのか、動いて来て、右側後輪に足を踏まれ、負傷した。
14	屋外資材置場にて、資材の整理のために、トラックの荷台に積んであった荷物を卸すために、トラック荷台の側後部から地面に降りようとしたところ、足が滑って転落し、膝を捻り、骨折した。
15	資材置場にて資材を取る際、上部より荷崩れがあり、落下してきた資材と棚とに挟まれ、手第5指を損傷した。

16	軽トラックで資材置場に資材を取りに行った際、旋回し減速停止したところ、軽トラック荷台に立って乗っていたため、荷台前部の枠を握っていた手が滑り転落。コンクリートの路面に膝をつき、膝打撲、膝蓋骨骨折、膝関節部挫創を負った。
17	資材置場で整理中、脚立に上り、脚立の上部から足を滑らせ、下に置いてある鉄製の足場材で脇腹を強打し、肋骨を骨折した。
18	資材置場にて、荷卸し作業が終わり、車両（ダンプ）荷台から降りようとした際、足を踏み外して転落、足を骨折した。
19	資材置場にて、講習を受けていた際、足場材の上に手を置き、誤ってハンマーで手を叩き負傷した。
20	資材置場にて、材料を揃えていた際、下敷きになっていた足場パイプを取り出そうと腰に力を入れ上げたところ、負傷した。
21	資材置場にて、材料を片付けていた際、立て掛けていた手すりが倒れ、足の甲にぶつかり骨折した。
22	資材置場にて、資材を運ぶ際、手が滑り足の上に落とし、負傷した。
23	資材置場にて、積み重ねたパネルを取り出そうと、パネルの上に上ったところ、パネルが荷崩れを起こし、お尻から地面に転落、踵を強打した。
24	資材置場にて、足場材を片付けていた際、誤って足場板を足に落とし負傷した。
25	資材置場にてフェンス単管パイプの片付け作業中、単管パイプを持ち上げようとした際、同僚が被災者に気付かず単管パイプを持ち上げ後ろへ引いた際、単管パイプの先端と被災者が持っていた単管パイプとの間に手親指を挟み負傷した。
26	資材置場の積込み場所にて、積込み完了後、車輛の移動のため、製品の1段目、2段目、3段目と降りた際、3段目で足を踏み外し、地上約2.3mから落下した。（ヘルメットは着用していた）
27	資材置場屋根の雨どいを清掃し梯子で下りる際、足を滑らせ誤って転落し、手首を受傷した。
28	ベニヤ板を資材置場へ持ち運んでいた際、手に持っていたベニヤ板が積んであったベニヤ板に接触し、ふらつき、足首を捻挫した。
29	鋼管足場を資材置場から運搬するため、4tトラックを資材置場に置いた際トラック後部左側タイヤがパンクしていたためタイヤを交換するためジャッキを鋼板の上にセットしようとしてジャッキを移動したところ（鋼板を手で押さえ、反対の手で移動）、ジャッキが倒れ、鋼板とジャッキの間に中指を挟まれ負傷した。
30	在庫数量確認のため、資材置場の棚の上で作業中、棚上には繁忙の折、荷物、資材を置いたままになっており、足場が少なかったため、バランスを崩し、転落。負傷した。
31	作業用工具等を資材置場の整理棚の上部に収めていた際、誤って脚立から足を踏み外し、膝関節などを痛めた。
32	資材置場で、4tダンプの荷台後部ドアを閉める際、手中指と薬指を挟んだ。
33	資材置場で作業中、H型鋼機の上に乗った際、鋼機が倒れ、足を負傷した。
34	資材置場で資材の片付け作業中、資材を持ったまま早歩きで歩行中、膝が外れたような感覚があった。
35	資材置場で物置を作っている際、誤って脚立の4段目から転落し、腰と足を打った。

36	資材置場にて、コラム材の荷卸し作業中、積み上げてあったコラム材（高さ 7 m）から滑り落ち、足つけ根部分を骨折し負傷した。
37	資材置場にて、型枠に油を塗っていたところ、誤って油の入った缶の切り口に触れ、手を負傷した。
38	資材置場にて、工事の道具を持ち、移動中、砂利道に足をとられ、転倒。肘を強打し、骨折した。
39	資材置場にて、資材の整理作業をするためベニア板を 2 階から 1 階へホイストクレーンを操作して降ろしている際、上方を見ながら歩行移動していたため、足元の確認不足により停車中のフォークリフトの後部ウエイト溝部分に足が挟まった状態になり、打撲と捻挫を負った。
40	資材置場にて、資材の片付け作業中、ダンプのバタを取り付けていたところ、手を滑らせ、バタと荷台底の角との間に指を挟んだ。
41	資材置場にて、資材片付け作業終了後、帰宅のため自家用車へ向かう際、砂利道でつまずき転倒したところ、手をつき、受傷した。
42	資材置場にて、足場の資材の整理中、足場資材が滑り落ち、手母指に当たり、捻挫した。
43	資材置場にて、足場作業で使う節交をメンテナンス中、置場の前の段差に上り、下りようとした際、バランスを崩し、とっさに手を出して鉄パイプに掴まろうとした際、誤って手小指をその単管パイプに強打し負傷した。
44	資材置場にて、足場板 1 枚を取り出すため、番線で結束しているところを切断し、その端を引っ張ったところ、結び目が足場板の間に引っ掛かり、手前に 1 枚の板が滑り落ちた。危ないと思い、とっさにしゃがんだところ、足場板の端が背中の肋骨付け根に当たり、負傷した。
45	資材置場にて、置場の撤去作業のため、足場のクランプをベビーサンダーで切断していたところ、手元を滑らせ、ベビーサンダーが跳ね返った際、刃が顔面に当たり、負傷した。
46	資材置場にて足場材を片付け作業中、2 t トラックの荷台に上り、単管パイプを降ろしていた際、荷台上に積んであった単管パイプで足を滑らせ、単管パイプを持ったまま 1 m 下の地面に転落。単管パイプに胸を打ちつけ肋骨を骨折した。
47	資材置場内にて、高さ 1.5 m 程に積み上げていた足場板が足に倒れかかり、足首を骨折した。
48	資材置場にて、木製パレットを移動していた際、軽いパレットと思い込み、誤ってパレットを持ち上げたところ、腰に負担がかかり、ギックリ腰の症状が出て、腰を負傷した。
49	資材置場にて、資材の整理中に持っていた角材が手から滑り、足の甲に落として負傷した。
50	翌日の作業のため、当車駐車場の資材置場の作業車を移動する際、手前に停めていた自社の単車（1300cc、約 300kg）が邪魔だったので、移動させた際、つまずき単車ごと横転し、踵を単車のステップに挟まれ、負傷した。

## 平成 25 年における機材センターに関係すると考えられる負傷災害事例

### 1 トラックの荷台への積込み・荷卸し作業時

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	資材センター内にて、機材をトラックに積もうとした際、バタ角に足を滑らせ、足関節捻挫、第5中足骨を骨折した。
2	資材倉庫内を整理作業中、積載形トラッククレーンを使用して高さ3.5m上の棚からブラケットの束をワイヤーで玉掛けし、移動していたところ、別のブラケットに引っかかり転落。下でリモコン操作をしていた被災者の肩部に当たり、負傷した。
3	資材倉庫にて、整理中、廃材（木くず）を処分するため、軽トラックに積み込み、荷台で作業し、後方に下がったところ、角材を踏み、後ろ向きのまま転落し、手首を負傷した。
4	資材置場にて、資材をトラックに積んでいたところ、誤って転落し、手首を骨折した。
5	資材置場にて、資材を運搬するため、作業車に資材を積み込む作業を行っていた際、作業車の荷台上を歩行中、バランスを崩し、手より地面に落下し、負傷した。
6	資材置場にて、廃材をトラックに積み込んでいた際、荷台の上で廃材を並べていたところ、足元の材木が動き、バランスを崩し、転落。腕や胸を打った。
7	資材置場にて、フォークリフトを使用しトラックから足場資材を卸す作業を行っていた際、当該作業とは関係のない被災者が、現場責任者の指示によらず、突然荷台に上ったところ、リフトで上げていた資材がズレたことに驚き、転倒。荷台から転落した。
8	資材置場にて、親綱をトラック荷台より卸した際、結束していない単管パイプの上に滑り、転倒した。
9	資材置場にて、トラックに機材を積み込み、機材を荷台の奥に寄せるため、キャビンの上に乗る、機材を引っ張ろうとしたところ、足をキャビンから踏み外し、地面に転落。地面に手をつき、手首を骨折した。
10	資材置場にて、トラックの荷台から型枠を卸す作業中、荷台の上の型枠に引っ掛り、バランスを崩し、約1.5m下に転落。足甲を骨折した。
11	資材置場にて、積荷を卸す作業中、6mパイプの束の上に上がり、積荷を受けようと待っていたところ、バランスを崩し、高さ1.5m上から飛び降りたため、足を捻り、尾骶骨を打った。
12	資材置場にて、点検作業のため、ダンプに積んであった型枠を点検清掃し、置場へ卸す際、手を滑らせ、重さ15kg位の型枠の角が足親指の上に落下した。
13	資材置場にて、荷卸し中、足を滑らせ、荷台から落下し、胸と手首を強打した。
14	資材置場にて、資材を車へ積み込み作業中、車の上から滑り、膝、脛を打撲した。
15	資材置場にて、足場材をトラックへ積み込む作業中、トラック荷台で足を滑らせ、転倒。足を強打した。
16	資材置場にて、足場パイプをトラックに積み込む作業中、足場パイプを持ち上げ、肩に担ごうとした際、手首を捻った。
17	資材置場にて、トラックより建築資材を卸す作業中、トラックの荷台より足を滑らせ、転落。肩を地面に打った。

18	資材置場にて、敷鉄板（4尺×8尺）をバックホウで吊り上げ、4t ダンプに積み込み中、荷台に立てかけていた鉄板が倒れ、起こそうと足を踏み出した際、逆側に横倒しにして荷積みしていた鉄板の間に足をはさんだ。
----	--

## 2 トラックの荷台への昇降時

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	資材センターにて、資材を積載形トラッククレーンから卸し終わり、荷台から下りた際、足を滑らせ、踵から着地し負傷した。
2	資材センターにて、荷物の積み込み作業中、トラックの荷台に上がろうと足を掛けた際、足を滑らせ、膝を痛めた。
3	資材置場にて、ダンプより荷卸し後、荷台より降りる際、足を踏み外し、転倒した。
4	資材置場にて、軽四ダンプに材料を積み込む作業中、荷台より降りた際、足を材料に引っ掛け、地面に転倒。足を負傷した。
5	資材置場にて、片付作業中、トラック荷台に上がろうと荷台側面をよじ登ったところ、足を滑らせ、地面に転落した。

## 3 脚立

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	営業所の資材倉庫にてパイプを整理中、パイプラックの上段のパイプを直そうとしていた際、脚立の上から2、3段目のところに足をかけて収納していたところ、バランスが崩れ、肘から転落した。
2	資材置場にて、脚立に乗り、カラーコーンを取ろうとしたところ、バランスをくずし、足から転落。踵を骨折した。
3	資材置場にて脚立に乗り荷物を整理中、バランスを崩し転倒。頭と肩、腰を打った。
4	資材置場にて、車から荷物を卸し、棚に戻そうと脚立に上って作業中、他の資材が崩れそうになったため、慌てて押えようとしたところ、バランスを崩し、120cm位の高さから転落した。
5	資材置場にて、整理整頓作業中、足場材を搬出した際、脚立の天板に乗ったところ、誤ってバランスを崩し転落し、手を着き骨折した。
6	資材置場にて、脚立に上がり、パイプを取り出し、整理をしていた際、バランスを崩し、飛び降りたため、足を地面に強打した。
7	資材置場の清掃中、型枠材の仕分けをしながらパネルの荷卸しをしていたところ、脚立からバランスを崩し、転落し、踝を打撲した。

## 4 梯子・階段

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	資材倉庫内の1階から2階に通じる階段にて、プラスチックパレット（110cm×110cm、重量約10kg）を運搬中、パレットが階段ステップに当たり、持っていた肩を捻り、鎖骨部を骨折した。
2	資材倉庫にて、片付け作業中、梯子からバランスを崩し、転落し、踵を骨折した。

3	資材置場にて、配管用足場架設工事に使用するための足場資材を積み込むため、横積みしてある資材に梯子を立て掛け、上っていた際、バランスを崩し、約4m下の地面に背面から転落した。
4	資材置場にて、修繕作業中、梯子を下りていたところ、バランスを崩し、飛び降りたため、踵を骨折した。

## 5 フォークリフト

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	資材置場にて、在庫確認の作業のため、伝票記入しながら歩行中、バック走行してきたフォークリフトと接触し、足にフォークのタイヤが当たり、足首を骨折した。
2	資材置場にて、フォークリフトの爪の幅を調節している際、誤って爪が足第一趾と第二趾に落下した。
3	資材置場に材料を取りに行こうと歩き出したところ、バックしてきたフォークリフトの後輪に足甲前部を轢かれた。
4	資材置場にて作業中、フォークリフトの爪が中央に寄り、爪が落ちそうになったため、移動させようと爪を両手で触ったところ、爪が外れ、つま先に落下した。
5	資材置場にて、単管パイプを置場まで運ぶため、リフトに積み込みしていた際、リフトの爪に上ったところ、足を滑らせ転倒し、足首を骨折した。

## 6トラック

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	資材置場にて、ダンプのエンジンを停止せず、ギアをニュートラルに入れずまま、運転席から降りようとしたため、ノッキングを起こし、体のバランスを失い、地面に転落。鎖骨を骨折した。
2	資材置場にて、片付作業中、トラックがバック発進したため、避けようとしたところ、転倒。トラックの後輪に足を圧迫された。

## 7 転倒

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	資材倉庫にて、資材整理のためしゃがんで作業していた。ひと段落して立ち上がった際、バランスを崩して後方に倒れて手をつき、手中指を負傷した。
2	資材置場にて、資材置場の片付け中、3m程度積み上げた資材の上から飛び降りたところ、着地の際にバランスを崩し転倒した。転倒した際、膝をひねり、靭帯を損傷した。
3	資材置場内を歩行中、敷地に鉄板が敷いてあるため、少し鉄板がとび出したところ、つまずき、誤って転倒。足を負傷した。
4	資材置場にて、資材置場棚上で資材の片付け作業中、足を踏み外し、転落した。
5	資材置場にて、片付け作業中、置いてあった単管パイプの束（約30本、高さ40cm）を跨いだ際、足が単管パイプに引っかかり、転倒。膝を鉄板に強打した。
6	資材置場にて、資材を運んでいる際、後ろ向きで歩いたため、足元の障害物につまずき、転倒した。
7	資材置場でコンパネを移動中、石につまずき転倒した。
8	資材置場にて、資材の整備中、誤って転倒し、手を着き、親指の付け根部分を骨折した。

9	資材置場を歩いていた際、つまずき転倒し、手を着き手の平を切った。
10	資材置場にて、年末の清掃、片付け中、高さ 50cm程度の資材（型枠材）の上に乗った際、つまずき、転倒した。
11	工場内の資材を片付け中、高さ 2m 程度の資材置場より足を滑らせ、後ろ向きに転倒。背中を強打した。
12	資材置場にて、資材の片付けを終了後、事務所に戻ろうとした際、排水溝に誤って足が引っ掛かり、転倒した。

## 8 挟まれ

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	機材センターにて、交さ筋かいを片付けた際、崩れ落ちて来た交さ筋かいに指が挟まった。
2	資材置場にて、組立資材のサポート材の片付け作業中、順に手離し、置こうとした際、手を資材との間に挟まれ、骨折した。
3	資材置場にて、納品するアルミ板の枚数を確認し、一人で不足分を追加しようとアルミ板 16 枚をリフトに乗せ替える際、片側をずらし乗せ、もう片方を移動させようとしたところ、手親指をアルミ板に挟み込んだ。
4	資材置場にて、片付け作業中、単管パイプを上段から下段に下ろす際、上段からの単管パイプを取り損ね、指が挟まれた。
5	資材置場にて、鉄板を移動する際、吊り金具と鉄板の間に手第4指を挟んだ。

## 9 資材の落下

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	資材センターにて、材料を運んでいる際、傾いた荷を直そうとしたところ、材料の一部が足に落下した。
2	資材センターにて、単管パイプを5、6本肩に担ぎ、運搬中、単管パイプ1本が抜け落ち、足に落下。足小指を骨折した。
3	資材置場にて、梱包され段積みされた金属製足場板 4m（足場材）の積上げ状態の不揃いを修正する作業中、木材を1段目上面と2段目下面のすき間に入れ、2段目の金属製足場板の片側をこねてずらしていた。その際、こねていない方の片側が外側に開き、枕木の端部に移動したため、腐食した枕木端部が折れ、2段目の金属製足場板が落下し、足に接触した。
4	資材置場にて、片付け中、足場板が落下。鼻と眉間に当たった。
5	足場の資材置場にて、柱の整理をしている際、単管パイプを持ったところ、単管パイプを膝に落下させた。
6	資材置場にて、2m程の単管パイプを積載形トラッククレーンに積み込む際、手が滑り、単管パイプが足に落下した。
7	資材置場にて、作業床(450x1800x50)を棚に整理中、手を滑らせ、足に落下させ、骨折した。
8	資材置場にて、型枠を持ち上げ、積み上げていた際、手が滑り、型枠が足指に落下し、負傷した。

## 10 資材の崩壊

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	資材置場にて、資材の位置を積み直す際、資材の横を歩いていたところ、資材が崩れ、被災者の足首の上に落下した。
2	資材置場にて、資材（単管）を片付けるため、トラックに積み卸し作業をしていたところ、荷が崩れ、足下に落下。足の親指を打撲した。
3	自社資材置場にて4トントラックからフォークリフトで荷卸し中、荷が崩れ、横にいた被災者を直撃した。
4	資材置場にて、整理作業中、積載形トラッククレーンにて単管パイプを吊っていた際、荷崩れし、単管パイプが滑り、顔面に当たった。

## 11 工具

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	機材センターにて、型枠用栈木を電動台ノコで切断加工中、ノコの刃に栈木の節が当たり、手を滑らせ、回転しているノコの刃に手が接触。手人差し指と中指第一間接から切断した。
2	資材センターにて、梯子修理のため、電動ドリルで作業していた際、誤って手にドリルが接触した。

## 12 強風

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	資材置場にて、資材の搬入と片付け作業中、重ねてあった金属製足場板が突風にあおられ、飛散し、被災者の頭部に当たった。
2	資材置場の倉庫を増設する作業中、既存の倉庫に5mの単管パイプを立てかけて作業をしていたところ、風で単管パイプが倒れ、背中を強打した。

## 13 熱中症

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	資材倉庫にて資材を整頓していた際、作業終了直前に足元がふらつき歩行困難となり、嘔吐、意識障害の熱中症の症状が出た。

## 14 その他

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	資材倉庫の屋根の雪降しを終了し、梯子からトラックの荷台に降りた際、足を滑らせ、転倒し、トラックのあおりに脇腹を強打した。
2	屋外資材置場にて、残材の片付け作業中、重ねて立てかけてあるうちの外側から5枚目を引き抜こうとした際、外側4枚を支えた被災者が加重に耐えられず、下敷きとなった。
3	資材置場にて、研修のため、足場材支柱を運ぼうと持ち上げた際、背中を痛めた。
4	資材置場にて、バランスを崩し、1m50cmの位置から飛び降りたため、足を負傷した。

イラストによる機材センターの災害事例集

平成 28 年 11 月 1 日発行

編集・発行 一般社団法人 仮設工業会  
本部事務局 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 6 階  
〒 108-0014 電話 03-3455-0448  
イラスト U企画 阿部穂美  
■不許複製

